

# 岡埜谷家古文書目録

その4 (近世F 1 ~ F 1 お茶の販売)

平成 30 年 1 月 整理

島 田 市 博 物 館

(島田市史編さん委員会)

## 綴込み資料

### 岡埜谷家古文書目録 その4 (近世)

- 1 岡埜谷家文書から見た笹間村 (その4) -近世を中心として- . . . . . (前1)
- 2 年 表 . . . . . (前3)
- 3 近世文書分類表 (文書目録の目次に替えて) . . . . . (前4)
- 4 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって . . . . . (前5)
- 5 古文書目録 (分類「F-1」~「F-1」 (お茶の販売) ) . . . . . (No.112)

## 岡埜谷家文書から見た笹間村（その 4）

—近世を中心として—

### 1、本目録（その 4）で扱う内容

これまでの目録（その 1・2・3）で、分類 A・B・C・D・E を扱ってきました。それは支配・土地・年貢・村制・産業に関するものでした。

本目録（その 4）では分類 F（商業）を扱います。F は商業一般と金融に大別されますが、ここでは商業一般のみとします。またこの F（商業一般）では当地方の主産物であるお茶とその他の製品に大別出来るのですが、お茶に関しては当目録だけでなく（目録その 5・6）と続いています。そこで本目録ではお茶以外の製品を扱い、お茶は目録「その 5」で扱うことにします。

### 2、村の農産物

すでに目録（その 1）で紹介したように、笹間村（上・下組）の村高は 670 石 3 斗 5 合＝永 134 貫 61 文（新田高は含まれず）と表示され、この村高は幕末まで変化せず続きました。670 石とは高類に見えますが、「永高」表示という特定地域のみでの表示の仕方によるもので、実際の米の石高は少なかったのです。米の外に、目録（その 3）でも紹介しましたが麦・大豆・小豆・蕎麦・粟・稗・芋があり、また換金作物では茶・椎茸・炭・柿などを挙げる事が出来ます。

江戸時代も 18 世紀以降になると、物と物ではなく貨幣が交換の媒介物として普及する経済が進行し、どの村も喰うための農作物だけでなく換金作物の生産と販売に軸足を向けるようになります。大井川 川根筋の村々の石高が、擬制貨幣の永高制に切替えられたのも丁度 18 世紀の始め頃からでした。

先に掲げた当村の換金作物の中でも特にお茶と椎茸は江戸へも売出すという人気商品でした。お茶は目録（その 5）で扱うとして、当目録（その 4）ではお茶以外の産物に目を向けることにします。

### 3、村の商品作物

商品作物とは、生産者が自分で消費したり、領主に貢納したりすることよりも、商品として売買するために生産される作物のことです。

目録（その 1）で紹介しましたが、当地の特産物として綿（真綿）があり、小物成（雑税）として貢納されていました。それは 17 世紀の段階では現物納で、18 世紀からは代銭納へと変わりました。綿の代銭納は幕末まで続いているが、村人が小物成の外に綿を商品としてどこにどのように売出していたのか、これを知る文書は伝わっていません。綿は当地の特産物には違いないけれど、多分先進地域の良質の綿に押されて、商品として影が薄くなって行ったものと思われます。その他の商品の主な先行は藤枝宿でした。その内お茶と椎茸は更に江戸へ売出されていることが注目されます。お茶の解説は目録（その 5）に回し、椎茸については目録（その 3）で触れましたが、若干追加しておくことにします。

椎茸は、藤枝を経由して焼津港に運ばれ、そこから船で江戸神田連雀町の小田原屋長兵衛方へ送られていたことは目録（その 3）でも触れました。小田原屋は前金を渡して品物を確保する、そんな時期もありました。この椎茸は江戸の外に駿府にも出荷していたのです。駿府平太夫町の長嶋屋栄次郎方へと送られた様子（椎茸の銘柄、数量など月日を追って記載）が「椎茸仕送帳・天保 11 年」で分かります。この関係は幕末まで続いたようです。

### 4 生活必需品の仕入

次に笹間村では日常生活に必要な物資をどこから入手したのでしょうか。政治的に関わりの深いのは嶋田宿なのですが、この嶋田宿に於ける取引は靴屋のみで、この靴とでも藤枝でも仕入れていたのです（上伝馬町：惣平）。その藤枝からは色々な物資を調達していました。

それでは岡野谷松兵衛が、藤枝でどんな物資をどこから入手していたか紹介しましょう。

① 米・麦類等穀類一般：柿屋伝五郎（吹屋町）・大吉屋吉兵衛（同左）・下田惣吉（瀬戸ノ

谷)・吉永屋善兵衛・竹屋小右衛門・山口屋庄五郎・滝下七右衛門 等が挙げられますが、とりわけ柿屋伝五郎との取引が目立ちます。

- ② 塩・醤油類：醤油屋留右衛門・萩野屋富衛門・山口屋庄五郎等がいます。  
山口屋庄五郎は穀類でも顔を出していますが、この外に小豆・素麺なども扱っていました。
- ③ 酒：木町の新蔵、滝沢村の瀬左衛門、の2名が挙げられます。
- ④ その他の食品：素麺・揚げ・昆布・牛蒡・人参・蓮根・蒲鉾・数の子
- ⑤ 衣類：米屋半左衛門・奥州屋仁左衛門(伝馬町)・大和屋榮吉・山本屋孫左衛門(呉服町)・笹谷甚助(炊屋町)・塩谷長兵衛等、これらの顔ぶれが目立ちます。  
衣類と言っても巾が広く、結城紬・綿入・羽織・小帯・織留・袷・紋付(米屋半左衛門・山本屋孫左衛門)、足袋・手拭・前掛け・シャツ・前掛け(奥州屋仁左衛門・笹屋甚助・塩屋長兵衛)、などが目につきます。

挙げ始めるとキリがないのですが、以上が藤枝に於ける岡野谷松兵衛の調達品目とその扱人です。

上記に見ての通り、品物の全てを岡野谷松兵衛が購入するという形を取ってはいますが、藤枝の売主が松兵衛に請求した「覚」(請求金額等)をみると、岡野谷1軒で消費するとは思えない程の一品目の量の多さと金額です。それは当時の商取引の支払いが年2回に節季制度だったこともあるのですが、察するに、岡野谷家は近隣の人々から依頼された注文の品物を一手に引き受けて購入し、後でこれを配分するというやり方をとっていたのではないのでしょうか。このように判断するのも、購入を依頼した思える人物から岡野谷松兵衛に「支払の金子、その期日をもう少し待つて欲しい」、などとする文書が幾つか存在するからです。

笹間村から売り出す品物も、また買い入れる品物も、同じ上記藤枝の商人が扱っていたとも思われますが、これ等の詳細な関係は今後の研究の課題ともなるでしょう。

## 5、笹間村の生活文化圏

笹間村は近世以来幕府領に属し、駿府紺屋町役所やその出先機関嶋田役所の支配下にありました。笹間村の村役人は、嶋田役所からの呼び出しや、またその他の要件でしばしば嶋田宿に赴いていました。

江戸時代末期、嶋田宿の人口は約5000人、宿場の規模で言うならば、駿河国の駿府、遠江国の浜松に次いで3番目の大きさです。従って嶋田にて必要な物資を調達しようとするならばそれも可能であった筈です。ところが当家文書からは米以外の取引は見受けられない。物資流通の側面から言えば、大井川上流域から嶋田宿への交通のアクセスは色々と困難な面が伴っていたのです。

笹間村は、商業取引に於いては藤枝を選びました。それは笹間村のみでなく、隣村の身成村や伊久美村も同様だったのです。伊久美から檜峠を越え滝沢に出て、そこから藤枝宿に向かうコースです。

政治的には嶋田宿と関わりを持ちながらも、生活文化の面から言えば、笹間村は藤枝文化圏に属していたと言えるでしょう。

以上、本目録「その4」(商業)に関わる文書内容から、お茶以外の商業取引に関する製品を扱いました。

文責 市史編さん委員 中野敬一

年表 応仁元年(1467)~平成9年(1997)まで

改元年の月と閏月をのせる。但し閏月は○入り

Table with columns for year, month, and day, listing various events and dates from 1467 to 1997. The table is organized into columns representing different years and months, with specific dates and events listed within each cell.

# 近世文書分類表 (明治5年まで)

## A 支配

- 1 領知 ①領主関係 ②領地関係 ③家臣関係 ④役所関係 ⑤建白書 ⑥王政復古
- 2 法令 ①法度 ②条目 ③定書 ④高札 ⑤掟 ⑥触書 ⑦達 ⑧五人組前書
- 3 治安 ①犯罪 ②取締 ③刑罰 ④喧嘩 ⑤騒擾・一揆 ⑥各種詫状  
⑦博奕 ⑧心中 ⑨防犯 ⑩検約 ⑪奢侈取締 ⑫風俗取締 ⑬鉄砲改

## B 土地

- 1 検地 ①検地条目 ②検地 (a 検地帳 b 水帳 c 清野帳 d 地押改帳 e 高反別改帳  
f 田畑高名寄帳 g 田畑買高帳 等)  
③新田検地 (a 新田検地帳 b 切開帳 c 切添帳 d 起返帳 等)
- 2 免租地 ①朱印地 ②除地 ③引地
- 3 新田開発 ①山林原野 ②隠田畑 ③河原 ④鷹場
- 4 所有地 ①所有者 ②登記 ③境界紛争

## C 貢租

- 1 年貢 ①物成 ②本途 ③取箇 ④成箇 ⑤地子 ⑥年貢割付状 ⑦免状  
⑧年貢皆済目録 ⑨口米 ⑩込米 ⑪欠米 ⑫小物成 ⑬先納 ⑭廻米 ⑮未進  
⑯延納
- 2 課役 ①国役 ②高掛物 ③村役 ④人足役 ⑤浮役 (a 運上 b 貢加)
- 3 地租 ①税金 ②改正關係

## D 村制・戸口

- 1 村概況 ①村差出明細帳 ②村鑑 ③他村高帳等
- 2 村政 ①村役人 (a 勤役 b 給与 c 交替) ②規約 (a 村法・村定 b 誓詞)  
③村方帳簿 (a 御用留 b 御用触書 c 覚書 d 願書 e 役向日記 f 諸書上帳 等)
- 3 村入用 ①村入用帳 ②村賄帳 ③巡見使諸入用帳 ④郷借証文
- 4 戸口 ①戸口改 ②宗門改 (a 人別改帳 b 宗門改帳 c 五人組改帳 d 人数増減改帳)  
③宗門一札 ④宗門送状 ⑤宗門諸状 ⑥欠落 ⑦戸籍

## E 諸産業

- 1 農業 ①耕作 ②農作物 ③農具 ④肥料 ⑤技術 ⑥農産物 ⑦養蚕  
⑧出作 ⑨入作 ⑩農業帳簿 (a 農業耕作万覚書 b 大福帳 c 田畑小作人元帳 等)
- 2 小作 ①小作人 ②小作慣行 ③小作料 ④小作紛争
- 3 入会 ①入会地 ②入会慣行 ③入会形態 ④入会紛争
- 4 林業 ①造林 ②伐木 ③造材 ④運材 ⑤材種 ⑥木炭・椎茸等 ⑦御林守  
⑧その他特産物
- 5 水産業 ①漁業 ②漁船 ③入会 ④水産物 ⑤水産加工品 ⑥製塩  
⑦漁携組織 (a 網元 b 網子)
- 6 畜産 ①牧畜 ②家畜 ③牛馬 ④牛馬役 (牛馬改帳) ⑤飼料
- 7 鉱業
- 8 工業 ①紙漉 ②織布・機械 ③製糖 ④大工 (a 家大工 b 船大工 c 細工物 等)  
⑤その他

## F 商業

- 1 一般 ①市場 ②商店 ③商品 ④商人 ⑤問屋 ⑥卸 ⑦小売 ⑧仲買 ⑨行商  
⑩組合 ⑪株仲間 ⑫商取引 ⑬売買 ⑭譲渡 ⑮手数料  
⑯商業帳簿 (a 金銭出入帳 b 大福帳 c 仕入帳) ⑰広告

## F 商業

- 2 金融 ①為替 ②両替 ③手形 ④無尽 ⑤講掛金 ⑥貨幣 ⑦借金証文 ⑧田地証文  
⑨質地証文 ⑩借入金明細書 ⑪貯蓄

## G 交通・通信

- 1 宿駅 ①街道 ②宿帳・問屋 ③宿役人 ④問屋・問屋場 ⑤継立人馬 ⑥帳簿 ⑦拝借金  
⑧本陣 ⑨旅籠 ⑩加宿・地方
- 2 助郷 ①定助郷 ②加助郷 ③代助郷 ④帳簿類 ⑤助郷訴訟
- 3 通行 ①陸上・海上・河川・湊 ②渡し ③驚籠 ④馬背 ⑤賃銭 ⑥関所 ⑦通行手形  
⑧交通機関 (a 荷車 b 人力車 c 馬車 d 船 等)
- 4 通信 ①飛脚 ②宿継 ③廻状 ④業者

## H 水利・土木

- 1 水利 ①治水 ②河川・湖・池・溜池 ③灌漑 ④排水 ⑤樋 ⑥堰 ⑦組合 ⑧紛争
- 2 土木 ①普請 (a 道路 b 堤防 c 橋梁) ②家作 ③資材 ④労力 ⑤費用
- 3 河川 ①海兵 ②流木 ③難破船

## I 災害・救恤

- 1 災害 ①凶荒 ②飢饉 ③地震 ④火災 ⑤風水害 ⑥流行病
- 2 救恤 ①救米金 ②負担軽減 ③復旧助成 ④備荒貯蓄

## J 教育・文化

- 1 教育 ①学校・寺子屋 ②私塾 ③教師 ④生徒 ⑤教科書
- 2 学芸 ①諸学問 (a 儒 b 国 c 洋 d 心 e 医 f 兵 g 易 h 天文) ②俳諧・和歌  
③哲学 ④本草学
- 3 文化 ①隨筆 ②見聞録 ③旅行記 ④絵画・書 ⑤工芸 ⑥地方書 ⑦農書 ⑧音楽

## K 宗教・習俗・身分

- 1 宗教 ①仏教 ②寺院 ③神道 ④神社 ⑤切支丹 ⑥教会 ⑦僧侶 ⑧神官 ⑨宣教師  
⑩山伏 ⑪檀家 ⑫氏子 ⑬祭礼 ⑭祈祷 ⑮勧進 ⑯寺社造営修復 ⑰由来
- 2 習俗 ①年中行事 ②冠婚葬祭 ③贈答 ④娯楽 ⑤言語 (a 方言 b 俗言 c 流言 d 落首)  
⑥風俗 ⑦口碑 ⑧伝説 ⑨民謡 ⑩迷信 ⑪講 ⑫宮座 ⑬若者組 ⑭遊山  
⑮参詣 ⑯巡礼
- 3 身分 ①士農工商 ②郷士 ③浪人 ④無籍者 ⑤非人 ⑥一本証文 ⑦一般雇用人  
⑧年季奉公人 (a 証文 b 請人 c 給与)

## L 軍事

- ①海防 ②農兵 ③戦争

## M 地図

- ①村絵図 ②寺社絵図 ③河川・沼・港絵図 ④山絵図

## X 家

- ①家憲・遺訓 ②家譜 ③由緒 ④過去帳 ⑤家格 ⑥苗字帯刀御免 ⑦本家  
⑧分家 ⑨相続 ⑩養子縁組 ⑪家業 ⑫家産 ⑬日記 ⑭書簡 (私信) ⑮姓  
⑯結婚 ⑰生死 ⑱衣食住

## Y 典籍

- ①和 ②漢 ③外

## Z 雑

- ①断簡 ②その他

# 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって

## I 文書目録の見方について

### 1 文書の分類

本古文書の内容はほぼ江戸時代から明治・大正・昭和の時代にわたっています。江戸時代の文書（中世文書も含む）は「近世文書分類表」（明治5年迄）により、また明治・大正・昭和時代の文書は「近現代文書分類表」によって分類しています。例えば江戸時代の文書（含、中世）ならば、「近世文書分類表」のA項目から「A-1」・「A-2」・「A-3」、次のB項目は「B-1」・「B-2」……、また明治・大正・昭和時代のものは「I-1」・「I-2」……「II-1」・「II-2」……というふうに各項目ごと、年月日の早い物から順に配列する方式をとっています。年代の特定出来ない文書はそれぞれの分類項目の最後尾にまとめて配列しました。

特に分類F-1については、商業一般のものとお茶の販売のもので目録の掲載を分けました。一般の部分を中心に、その後にお茶の販売の部分を書きました。

### 2 「通し番号」と「整理番号」について

- (1) 「通し番号」とは本文書目録の最左端上部から順に付した一連の番号数字で、分類別かつ年代順に古い事項から一連番号を付したものです。
- (2) 「整理番号」とは、「通し番号」の下に付した番号数字のことで、これは調査の際に文書挿入の封筒に付した番号です。この番号については、『川根町近世史料所在目録』（第6集）の「岡埜谷家文書」に掲載されてある分類符号にそのまま番号数字を記して『川根町近世史料所在目録』からでも原文書を特定できるようにしました。それから今回は未調査の文書があり、それも調査を行ない、追加分としました。追加分の文書は外1、外2・・・と「外」の字を付して一連番号としました。いずれにせよあとで説明してありますが、この「整理番号」が原文書を取り出す時の鍵数字となります。

### 3 「年号」欄、「標題」欄、「差出人・受取人」欄について

- (1) 時折り、「欠」とか「記載なし」とかの表示がありますが、「欠」とは、もと原文書に記入してあった筈の文字が、虫喰いとか破損等で欠落していることを意味しています。また「記載なし」とは、原文書にもともと記入しなかったことを表しています。
- (2) 年号欄・標題欄等で、語句を（ ）で表記しているところがあります。これは原文書には何も記していない箇所ですが、内容から推測してその意味がくみ取れ

るよう仮の言葉で調査の際に新たに記載したものです。但し、西暦は常に（ ）内に示し例外です。

### 4 「摘要」欄・「備考」欄について

- (1) 摘要欄には原文書内容の要旨や特徴を記載し、いちいち原本に当たらなくてもおよその文章内容が把握出来るようになっています。この「摘要」欄を「年号」・「差出・受取人」欄とを併合して見ることで「分野別年表」として活用できるようにしました。
- (2) 備考欄には本文内容以外の補足事項を必要に応じて記入しました。

### 5 「形態」欄と「数量」欄について

- (1) 形態欄に「状」・「縦」・「横」・「綴り」等の表示がありますが、「状」とは「一紙文書」のこと、「縦」とは縦帳面のこと、「横」とは横帳面のこと、「綴り」とは複数の文書又は帳面を一括して一綴りにしているものを意味します。
- (2) 数量欄の数字は、一つの封筒の中に入れた文書の枚数のこと、帳面ならば冊数になります。

### 6 「撮影」欄と「箱番号」欄について

- (1) 撮影欄には、岡埜谷家古文書調査の際にコピーして、そのコピー文書を当市史編さん室（博物館）が所持していることを意味しています。
- (2) 箱番号とは、当市史編さん室（博物館）にある「コピー文書」の保管箱の番号のことです。

## II 古文書原本の取り出し方

- 1 古文書収納箱の中には、封筒に入った古文書が分類「A-1」・「A-2」…「B-1」…「D-1」…「E-1」…の項目ごとにそれぞれ分割されて大きな袋（「同一分類による文書群の挿入袋」）に入っています。この分類袋と文書目録の「整理番号」から該当文書を取り出すことができます。
- 2 古文書の取り出し方について、一例をあげると次の通りです。例えば文書目録の「通し番号」9の文書を取り出すとします。この通し番号9の文書の「整理番号」は「A24」で、分類は「A-1」です。そこで、まず分類（A-1）の挿入袋（同一分類による文書群の挿入袋）を出します。そしてこの大きな封筒の中から整理番号「A24」の封筒を選び出せば該当

文書が得られます。以下、取り出す要領はすべて同じです。

- 3 分類 F - 1 は商業一般と、お茶の販売で保管する箱が分かれています。お茶の販売の文書が入っている封筒の整理番号の頭に L の符号がついており、保管箱の表紙には「分類 F - 1 ㊦付き」と表示されています。分類 F - 1 の文書を取り出す際には商業一般に関するものか、お茶の販売に関するものか気をつけて取り出してください。

また、『川根町近世史料所在目録』掲載分と追加分で保管する箱を変えてあります。追加分には保管箱に「第2次調査分」と記載してありますので、こちらも文書を取り出す際には気をつけてください。

### Ⅲ 文書の取扱いに付いてお願い

- 1 文書を取り出したならば、しまう時には必ず元の挿入箱に納めてください。  
これを取り違えると、次会引き出すとき行方不明となり、場合によってはすべての古文書に当たらなければならなくなります。
- 2 古文書がいつまでも傷まないように、時々乾燥剤や防虫剤を収納袋の中に入れ替えてください。
- 3 当古文書は戦国・江戸時代の上河内地区の動向を知る上で貴重な資料となるものです。それは岡埜谷家の宝物であると同時に当地域の貴重な財産でもあります。いつまでも大切に保存してください。



| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題         | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)      | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-------------|----------------------------------|--|----------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1435<br>L476 | F<br>1 | 12月<br>・卯          | 覚           | ○かなや:吉川屋五右衛門<br>●平口五郎右衛門様 岡野谷様   | 5月28日棧3本、6月8日棧23本、ノ26本、この代金3貫628文、この金2分・404文、などと記載。                                | 虫損、しみあり<br>(旧目録P280) | 原 本       | 状   | 1   | ○   | 94               |
| 1436<br>F514 | F<br>1 | 正月 5日<br>・辰        | おぼへ         | ○八左衛門<br>●上河内村:岡野谷               | ①酒1升、②同4升5合、③同、ノ金2朱・313文、以上受取る。  | (旧目録P147)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1437<br>F395 | F<br>1 | 2月20日<br>・辰        | 覚           | ○龍屋<br>●上河内村:松兵衛                 | 靴2斗5升、この代1貫664文、この金子1分・16文。これ受取る。  | (旧目録P147)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1438<br>F32  | F<br>1 | 2月23日<br>・辰        | 手船仁左衛門乗積附   | ○徳田屋基四郎<br>●岡野谷松兵衛               | 「上印九条6本外、清一印、大工印、飛一印、和一郎印等、中条瀬兵衛(江戸茶仲間)行。これを積み入れ、出帆したいと伝える。                        | (旧目録P178)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1439<br>F515 | F<br>1 | 3月7日<br>・辰         | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 金1朱、これを銭にて預かる。   | (旧目録P147)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1440<br>F934 | F<br>1 | 3月9日<br>・辰         | 覚           | ○駿州藤枝:柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛           | 金3両、確かに受取る。  | (旧目録P147)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1441<br>F516 | F<br>1 | 3月28日<br>・辰        | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛    | 金3両、これは銭代金として受取る。  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1442<br>F517 | F<br>1 | 3月<br>・辰           | 覚           | ○かきや伝五郎<br>●岡野谷松兵衛               | 卯年2月より8月までの記録。2月9日、糯米1俵、4月3日、上あら麦6俵、5月21日、新あら麦25俵などを、代金とともに書上げ、合計金額18両2分と56文3分とある。 | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1443<br>F518 | F<br>1 | 4月朔日<br>・辰         | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛    | 金10両、米代金として受取る。  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1444<br>F519 | F<br>1 | 4月4日<br>・辰         | 覚           | ○シマダ:藤吉<br>●岡野屋                  | 銭16貫708文一金1両につき、6貫680文。この金2両2分、この通り、確かに受取る。  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1445<br>F520 | F<br>1 | 4月10日<br>・辰        | (金子請取の覚)    | ○(石神)木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛            | 金1両の受取り。使い:平左衛門  | (旧目録P185)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1446<br>F521 | F<br>1 | 5月23日<br>・辰        | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 銭19貫700文、この金子3両、確かに受取る。  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1447<br>F522 | F<br>1 | 5月27日<br>・辰        | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛    | 金5両の金子、確かに受取る  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1448<br>F787 | F<br>1 | 6月11日<br>・辰        | 覚           | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 銭9貫824文、この金子1両2分、確かに受取る。   | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1449<br>F524 | F<br>1 | 7月朔日<br>・辰         | 覚           | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | 金5両、確かに受取る。使い平左衛門  | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1450<br>F935 | F<br>1 | 7月9日<br>・辰         | 覚<br>(米等売買) | ○(藤枝木町):吉永屋善兵衛◎<br>●岡野谷松兵衛       | 米、茶代金1両2分8文3分1厘、確かに相済みとなる。   | (旧目録P148)            | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題              | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|------------------|----------------------------------|---|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1451<br>F525 | F<br>1 | 7月26日<br>・辰        | 覚                | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛    | 金1両1分、確かに受取る。使い平左衛門   | (旧目録P148)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1452<br>F936 | F<br>1 | 7月<br>・辰           | 覚                | ○多吉<br>●上河内:岡の谷松兵衛               | 個数ノ219本、内85本こもかけ、この駄賃32貫850文。74本、小川出。<br>内1本こもかけ、この駄賃1本につき、90文づつ(椎茸のことか)。外に小<br>豆1斗請取もある。               | (旧目録P148)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1453<br>F937 | F<br>1 | 9月5日<br>・辰         | 覚                | ○米屋半藏◎<br>●岡の谷松兵衛                | 金4両、米代金の内金として受取る。   | (旧目録P148)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1454<br>F938 | F<br>1 | 9月14日<br>・辰        | 覚<br>(金銭受取)      | ○駿州藤枝:柿屋伝五郎<br>●「上 様             | 金3両、受取る。使い嘉右衛門  | (旧目録P148)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1455<br>F526 | F<br>1 | 9月18日<br>・辰        | 覚                | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 6貫524文、この金子1両。笹基より確かに受取る。   | (旧目録P148)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1456<br>F527 | F<br>1 | 10月20日<br>・辰       | 覚                | ○(藤枝吹屋町):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 金3両、米代金として確かに受取る。   | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1457<br>F528 | F<br>1 | 11月10日<br>・辰       | 覚<br>(呉服屋への支払受取) | ○山本屋孫左衛門(藤枝呉服店)<br>●岡野谷松兵衛       | ゆうき(結城)1反36匁5分、裏地1反15匁、綿切(梳帯)1ノ2匁5分。小倉<br>男帯4匁8分等、全部で15項目を挙げ、計金1分と232匁、510文。この<br>金子4両3米、確かに受取る。        | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1458<br>F940 | F<br>1 | 11月25日<br>・辰       | 覚<br>(米代金受取)     | ○藤枝:柿屋伝五郎◎<br>●「上                | 金5両、米代金として確かに受取る。   | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1459<br>C602 | F<br>1 | 11月<br>・辰          | 覚<br>(物品請取書)     | ○平左衛門<br>●「上                     | ○立160枚、代金7貫文。○長33枚、代金2貫678文。2口ノ9貫678<br>文。この駄賃増し64文。内金1両、受取。  | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1460<br>L205 | F<br>1 | 12月16日<br>・辰       | 覚                | ○(二<br>●「上                       | 茶筴85枚34文。代金3貫10文、内金二分、受取り。差引238文渡す。   | (旧目録P294)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1461<br>F529 | F<br>1 | 12月19日<br>・辰       | 覚                | ○柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛            | 金3両、米代内金として、確かに受取る。   | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1462<br>F847 | F<br>1 | 12月22日<br>・辰       | 覚                | ○藤枝木町:小兵衛<br>●河内村:松兵衛            | 4月28日、232文箱1俵。50文壺3升。8月28日、232文箱1俵。48文壺<br>2升。計560文。金二朱受取り。206文渡し。                                      | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1463<br>F848 | F<br>1 | 12月<br>・辰          | 覚<br>(品物受取の覚)    | ○かいや伝五郎<br>●岡野谷松兵衛               | 糯米2斗、切素麺1箱、米2俵等の代金を7月10日~12月6日まで書<br>付、計金19両1分、14貫362文。それに駄賃14貫372文、2口合金19<br>両1分、29貫135文。              | (旧目録P179)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1464<br>F849 | F<br>1 | 12月<br>・辰          | 覚<br>(包紙入)       | ○かき屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛           | 辰9月初分、蔵米25俵(4斗1升5合入)。この代金13両3分2朱。8月24<br>日、内金14両、受取り。   | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1465<br>F942 | F<br>1 | 12月<br>・辰          | 覚<br>(米買上控)      | ○セト(藤枝瀬戸谷):下田惣吉<br>●上河内村:岡野谷松兵衛  | 米・塩等33俵、工賃6貫184文。茶82俵、9貫564文。その他を加え、1<br>3貫388文、この金子1両3分2朱640文。内金8両積引いて惣差引2両3<br>分2朱4貫777文、この金3両2分653文。 | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題              | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|------------------|----------------------------------|--|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1466<br>F531 | F<br>1 | 2月16日・巳            | 覚<br>(買物)        | ○木町:鉄二郎<br>●岡野谷松兵衛               | 870文、大牛蒡30本、720文、にんじん60本、880文、れんこん2抱等36項目を並び立てる。全て金1分と10貫568文。この金子1両3分1朱と256文。内金1両2分かり、残金1両1朱と256文となる。                               | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1467<br>F850 | F<br>1 | 2月<br>・巳           | 覚<br>(塩、柿直段の引合せ) | ○藤枝川原町:吉郎右衛門<br>●上河内村:松兵衛        | 2月24日～9月4日に亘る塩、柿の売上量と代金を、使いの駄賃とともに記載する。塩は差引125文の預り、柿は1両726文とある。  | (旧目録P149)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1468<br>F547 | F<br>1 | 3月17日<br>・巳        | 覚<br>(受取り)       | ○米や半左衛門◎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛         | 立備給・こん紋付等、金2両2朱ト154文の内金2両の受取証  | (旧目録P152)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1469<br>F944 | F<br>1 | 3月21日<br>・巳        | 覚<br>(差引勘定)      | ○藤枝木町:岡のや鉄蔵<br>●上河内村:御若衆中様       | たばこ他、37品目の代金と支払金額を記載。岡野谷家に関係のある鉄蔵が藤枝に出、各種の取り引きをしたと推測される。この巳年の金額2両3分2朱ト620文で、内金2両1分1朱受取り、金2分1朱ト622文借り金とある。岡野谷家に奉公していた人達の注文にも応じていただろう。 | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1470<br>F532 | F<br>1 | 3月23日<br>・巳        | 覚<br>(酒代受取り)     | ○瀬次村:頼左衛門(酒屋)<br>●上河内村:松兵衛       | 金50両、確かに受取る。   | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1471<br>F533 | F<br>1 | 3月29日<br>・巳        | 覚                | ○(藤枝木町):山口屋庄五郎<br>●岡野谷松兵衛        | 金10両の受取り。これについて、2朱金2つ、少々見て悪く、受取りを断る。   | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1472<br>F409 | F<br>1 | 3月<br>・巳           | 覚<br>(金銭受取り)     | ○塩屋長兵衛<br>●御世話人御中様               | 筵・足袋・蠟燭等の品物代金の受取り。11品目の総合計金額8両3分1朱・172文、となっている。  | (旧目録P161)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1473<br>F813 | F<br>1 | 3月<br>・巳           | 覚<br>(荷駄賃外代金請取)  | ○与助・安平<br>●御世話人衆中様               | 与助と安平が一定期間に働いた労賃の受取り証書。総計2両2分1朱と銭51文となっている。  | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1474<br>F851 | F<br>1 | 3月<br>・巳           | 書簡               | ○鉄五郎<br>●岡野谷松兵衛                  | 鉄五郎にとって嘉右衛門は新規の商人である。その鉄五郎から幸便にて嘉右衛門を紹介する書状。   | (旧目録P179)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1475<br>F946 | F<br>1 | 3月<br>・巳           | 覚<br>(醤油外代金請取)   | ○塩屋長兵衛<br>●上川内:御若衆中様             | 岡野谷家に奉公していた者達が注文した品物とその代金の受取りが記載される。この金2分・242文とある。日用雑貨品が多い。  | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1476<br>F534 | F<br>1 | 4月 2日<br>・巳        | 覚                | ○上伝馬町芝草立木や惣平(藤枝)<br>●与左衛門        | 糞3斗、1升到付き66文替え、代3貫60文、内金1分1朱、差引60文返す、とある。  | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1477<br>F947 | F<br>1 | 4月 2日<br>・巳        | 覚<br>(受取り)       | ○二又:平四郎(伊久美村西野)<br>●上河内:岡野谷松兵衛   | 金50両2分・376文、これ受取る、とある。   | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1478<br>F535 | F<br>1 | 4月 17日<br>・巳       | 覚                | ○かき屋伝兵衛<br>●岡野谷松兵衛               | 金3両 米金、金1両 銭分、金4両、これ確かに受取る、とある。  | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1479<br>F948 | F<br>1 | 4月25日<br>・巳        | 覚                | ○柿屋伝兵衛<br>●(岡野谷)松兵衛              | 金10両、使い嘉右衛門にて確かに受取り、とある。品目の記載はない。  | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1480<br>F536 | F<br>1 | 5月26日<br>・巳        | 覚                | ○柿屋伝五郎(藤枝)<br>●岡野谷松兵衛            | 銭13貫100文、この金2両、これ確かに受取る、とある。   | (旧目録P150)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題         | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)        | 原・写<br>区別 | 形態 | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-------------|----------------------------------|--|------------------------|-----------|----|----|----|------------------|
| 1481<br>F537 | F<br>1 | 5月29日<br>・巳        | 覚           | ○柿屋伝五郎(藤枝)<br>●上河内:岡野谷松兵衛        | 金3両也、使い:平右衛門、この通り確かに受取る、とある。   | (旧目録P150)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1482<br>F538 | F<br>1 | 7月10日<br>・巳        | 覚           | ○ささや甚兵衛<br>●上(岡野谷)               | 1、6匁9分65文、1、222文目 下り書入れ、この内金1分、この通り受取る、とある。                              | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1483<br>F539 | F<br>1 | 7月10日<br>・巳        | 覚           | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | 1、金5両也、1、金2朱 すれ金、この通り諸色内金たしかに受取る、とある。                                    | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1484<br>F852 | F<br>1 | 7月10日<br>・巳        | おぼえ         | ○小津長兵衛<br>●上川内:(岡野谷)             | 葉4口、ノ585文、とある。   | (旧目録P280)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1485<br>F540 | F<br>1 | 7月12日<br>・巳        | 請取          | ○大平村:清水市右衛門<br>●岡野谷御主人様          | 利足金1両2分、これ確かに受取る、とある。  | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1486<br>F788 | F<br>1 | 7月27日<br>・巳        | 覚           | ○柿屋伝五郎(藤枝)<br>●岡野谷松兵衛            | 1、金2両也、使:平左衛門、これ確かに受取る、とある。  | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1487<br>F192 | F<br>1 | 8月 6日<br>・巳        | 覚<br>(請取證)  | ○駿州藤枝:柿屋伝五郎<br>●(岡野谷)            | 麦代金 金2両、この請取である。   | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1488<br>F481 | F<br>1 | 8月12日<br>・巳        | 覚           | ○二又:(屋号)<br>●上様(岡野谷)             | 上並の油(1升・2升)、この代金計332文、この代金ノ333文、これより1朱請取、差引82文返す、とある。                    | (旧目録P143)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1489<br>F396 | F<br>1 | 8月<br>・巳           | 仕切          | ○多吉<br>●岡野谷松兵衛                   | 固数256丁(松兵衛家出し)、この駄賃39貫100文、26本(小川出し)、この駄賃2貫600文、駄賃計41貫700文、とある。          | (旧目録P248)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1490<br>F853 | F<br>1 | 9月 1日<br>・巳        | 覚<br>(金子領収) | ○大工:半七<br>●記載なし                  | 金900文 びょうぶ代、とある。   | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1491<br>F187 | F<br>1 | 9月12日<br>・巳        | 覚<br>(仕切金)  | ○長崎屋頼兵衛<br>●岡野屋松兵衛               | 長崎屋頼兵衛は岡野屋松兵衛に仕切り金6両1分1朱・305文も送った覚書き。                                    | (旧目録P265)              | 原         | 状  | 1  | ○  | 94               |
| 1492<br>F541 | F<br>1 | 9月29日<br>・巳        | 覚           | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | 1、金3両也、使い:平左衛門、これは米代金の内金として受取る。  | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1493<br>F542 | F<br>1 | 10月晦日<br>・巳        | 覚           | ○池屋勘右衛門<br>●岡野谷松兵衛               | 木町太左衛門からの金3両2朱、これは米代の外、惣差引きの方にて確かに受取る。                                   | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1494<br>F952 | F<br>1 | 10月<br>・巳          | 覚<br>(搦麦代金) | ○ついで村:池谷勘右衛門<br>●上河内:岡野屋(松兵衛)    | 搦麦代金2口ノ2両の覚。   | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1495<br>F543 | F<br>1 | 11月14日<br>・巳       | 覚           | ○瀧澤村:瀬左衛門(駿州滝沢)<br>●上河内:岡野谷松兵衛   | 1、金10両也、これ確かに受取る。  | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1496<br>F544 | F<br>1 | 11月29日<br>・巳       | 覚           | ○丸一(駿河身成)<br>●上サマ                | ①1、金8両3分〜江戸長嶋出し、1、金11分〜二又無尽返へり、②金12両、これは杉山代金改めとして、政吉より差上げたもの、改めの上受取られたし。 | (旧目録P151)              | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1497<br>F854 | F<br>1 | 11月<br>・巳          | 覚           | ○奥州屋仁左衛門<br>●上河内:松兵衛             | ・米4俵、ノ金12両3朱、ノからし1石5斗2升、代金8両3朱、2口惣ノ金76両、1両1分1朱分、元利引 惣ノ金82両3分3朱分の代金の覚。    | 外に、断簡1通あり<br>(旧目録P151) | 原         | 状  | 2  |    |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題            | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・写<br>字区別 | 形態 | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|----------------|----------------------------------|---|-----------------|------------|----|----|----|------------------|
| 1498<br>F545 | F<br>1 | 12月 5日<br>・巳       | 覚              | ○柿屋伝五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛            | 1、金3両、使い:平左衛門、この通りたしかに受取る。  | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1499<br>F954 | F<br>1 | 12月11日<br>・巳       | 覚              | ○山本屋孫左衛門<br>●御苗:松兵衛              | 1、金6両2分1朱、11月21日、内金6両請取、差引2分1朱、残り20文、12月11日確かに請取相済み、とある。                          | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1500<br>F955 | F<br>1 | 12月11日<br>・巳       | 覚              | ○駿州藤枝:藤吉(谷藤の印あり)<br>●平野屋         | あらま1俵、代金1分・159文、外に、348文は駄賃、金1分受取る、とある。  | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1501<br>F546 | F<br>1 | 12月16日<br>・巳       | 覚<br>(品物代金の請取) | ○白子町:平七<br>●松兵衛                  | 6匁8分:しぼり1反、13匁5分:ちりめん小しぼり5尺、2匁4分:はおりひも1かけ、など全部で10品目を挙げ、この計金:2両3分、銀46匁9分5厘、とある。    | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1502<br>F956 | F<br>1 | 12月25日<br>・巳       | 覚              | ○椀屋新九郎<br>●岡之谷松兵衛                | 大広台:42匁の請取。   | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1503<br>F959 | F<br>1 | 12月26日<br>・巳       | 覚              | ○塩屋屋安平<br>●岡野谷松兵衛                | 鯨燭・切り昆布・かまぼこ・数の子等を買求め、その合計:金2朱・2貫182文とある。   | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1504<br>F960 | F<br>1 | 12月26日<br>・巳       | 覚<br>(買物の代金領収) | ○いづみや平八<br>●上河内村:松兵衛             | あげ32枚、青いた50枚、この代金440文、これ確かに受取る、とする領収書。  | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1505<br>F548 | F<br>1 | 12月<br>・巳          | 覚              | ○伊久美:平四郎<br>●岡野谷松兵衛御店衆中          | 米代金の請取について、6月・7月分を細目にわたり記載する。紙面下方部が全面的に虫損、字欠にて完全な読解は困難。                           | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1506<br>F855 | F<br>1 | 正月10日<br>・午        | 覚              | ○米や半左衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛          | 11匁2分、初切恰。2月28日、金1両2分受取り。   | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1507<br>F549 | F<br>1 | 正月14日<br>・午        | 覚              | ○(駿府鍛冶町):浅田屋清右衛門<br>●笹間下組:松平     | 14日、酒・肴・など、銀40匁2不厘、この金2分2朱と2匁7分5厘。この通り、確かに受取る。                                    | (旧目録P149)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1508<br>F550 | F<br>1 | 3月28日<br>・午        | 覚              | ○河原町:弥右衛門◎<br>●岡ノ谷松兵衛            | 金2両受取書。使い仙八。  | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1509<br>F789 | F<br>1 | 3月29日<br>・午        | 覚              | ○(藤枝木町):山口屋庄五郎<br>●岡登谷松兵衛        | 金10両、米代金の内、確かに受取る。  | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1510<br>F551 | F<br>1 | 4月3日<br>・午         | 覚              | ○(藤枝):米屋半左衛門<br>●岡野谷松兵衛          | 金2両2分、これは勘定の内、確かに受取る。   | (旧目録P152)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1511<br>F552 | F<br>1 | 5月10日<br>・午        | 覚              | ○(藤枝):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛           | 金1両2分、銭の分、確かに受取る。   | (旧目録P153)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1512<br>F790 | F<br>1 | 6月4日<br>・午         | 覚              | ○(藤枝):柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛           | 金3両、銭の分。金3両、麦の分。合計6両、確かに受取る。  | (旧目録P153)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1513<br>F553 | F<br>1 | 6月6日<br>・午         | 覚              | ○(了西)一店<br>●上サマ                  | 鯉節・醤油・こまめ・鮎など4品目。ノ5貫324文、金2両324文、確かに受取る。  | (旧目録P153)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |
| 1514<br>F554 | F<br>1 | 6月29日<br>・午        | 覚<br>(米麦代金受取り) | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | 先日、金子借用申し上げたところ、この度、小川の坂本藤四郎様へ私差引勘定あり。故に金10両を替にて借用。このことご承知のこととして、米麦代金として金10両を受取る。 | (旧目録P153)       | 原本         | 状  | 1  |    |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号<br>西暦( )・干支 | 年月日          | 標 題                | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |
|--------------|--------|----------------|--------------|--------------------|----------------------------------|---|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|
| 1515<br>F416 | F<br>1 |                | 7月13日<br>・午  | 覚<br>(請取證)         | ○山惣印<br>●甚兵衛輪:忠七                 | 金15両。上河内松兵衛殿分印の受取り。   | (旧目録P164)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1516<br>F555 | F<br>1 |                | 7月<br>・午     | 覚                  | ○仕立屋大竹店<br>●岡野                   | 米1俵4斗、代金4両2分1朱88文、1分駄賃。この金子、受取る。  | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1517<br>F556 | F<br>1 |                | 7月<br>・午     | 覚                  | ○縫屋又助<br>●岡野谷松兵衛                 | 2月4日と3月3日の商品代400文、確かに受取る。   | (旧目録P不明)        | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1518<br>F557 | F<br>1 |                | 8月29日<br>・午  | 覚                  | ○南新屋村:安五郎<br>●かうち:松兵衛            | 総ノ3丁2分2朱と727文、諸色代請求。つり1分127文。残り分を渡す。  | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1519<br>L48  | F<br>1 |                | 10月19日<br>・午 | 覚<br>(茶筵代金受取覚)     | ○(二 伊久美:西野<br>●「上 サマ             | 茶筵80枚(巳年分)20枚(午年分)合計100枚、3貫956文。代金2分と708文。巳年内金2分。午年内金2朱。差引104文。   | (旧目録P294)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1520<br>F558 | F<br>1 |                | 10月23日<br>・午 | 書状<br>(金子借用のこと)    | ○石上:金鉄<br>●上河内村:岡野谷御主人           | 先日、お頼みした金子借用のこと、是非お願いしたい。質物のことも心掛けているので心配なく、先方にお話しして下さい、との依頼状。  | (旧目録P118)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1521<br>F961 | F<br>1 |                | 10月<br>・午    | 札(大豆札5枚)           | ○笹間村下組限<br>●記載なし                 | 大豆札1升に1枚、2合5勺に4枚。印(印文:駿州上河内岡野谷)あり。  | (旧目録P179)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1522<br>F965 | F<br>1 |                | 11月13日<br>・午 | 覚<br>(1分2朱100文受取り) | ○梶屋新九郎印<br>●小川嘉左衛門               | 1分2朱200文の受取り状。  | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1523<br>F967 | F<br>1 |                | 12月27日<br>・午 | 覚(請取状)             | ○藤枝木町:いづみや(泉屋)長七印<br>●岡野谷松兵衛     | かつお1本(350文)、田作り2升(116文)、あげ24枚(100文)、にんじん大3本(36文)など、ノ1分2朱と250文。金2分受取り、600文返し。  | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1524<br>F968 | F<br>1 |                | 正月6日<br>・未   | 覚                  | ○米屋半平印<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両、内金として受取る(品目不明)。   | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1525<br>F969 | F<br>1 |                | 正月13日<br>・未  | 覚<br>(反物等代金受取り)    | ○米屋半左衛門印<br>●河内:松兵衛              | 反物・吟花色外、反物仕立代共、金1両と35文受取り。  | (旧目録P153)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1526<br>F562 | F<br>1 |                | 4月8日<br>・未   | 覚                  | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | 銭19貫850文。但し1両につき6貫550文。この金3両。これ確かに受取る。  | (旧目録P154)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1527<br>F736 | F<br>1 |                | 4月27日<br>・未  | 覚<br>(金子受取り)       | ○次(郎方)兵衛殿セ話人<br>●岡野谷松兵衛          | 金1両2朱、確かに受取る。品物不詳。差出人も欠損により不明。  | (旧目録P173)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1528<br>F856 | F<br>1 |                | 4月<br>・未     | 覚                  | ○柿屋伝四郎<br>●上河内村:松兵衛              | 塩1俵、麦7俵、梨5束、この代金受取り。<br>折目破損。   | (旧目録P154)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1529<br>F970 | F<br>1 |                | 6月12日<br>・未  | 請取                 | ○多吉印(印文:多吉 石神)<br>●岡の谷松兵衛        | 金1両の請取證。  | (旧目録P154)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1530<br>F563 | F<br>1 |                | 7月12日<br>・未  | 覚                  | ○字八<br>●川内:岡野谷松兵衛                | 午年より未6月までの諸色(麦米等)とその代金を書付け、計金1両4朱と1貫521文。これより山代金を差引き、金2朱と203文。以上、この計算引きあわせ確認されたい。山代金のこと、これまで延引、ご容赦願いたい。右、金子、今便にて送る。 | (旧目録P154)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1531<br>F586 | F<br>1 |                | 11月25日<br>・未 | 覚                  | ○店や庄八<br>●岡野谷松兵衛                 | こし芋等諸色代、ノ金1両1分と491文、確かに受取る。   | (旧目録P154)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題           | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)           | 原・写<br>区別 | 形態 | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|---------------|----------------------------------|--|---------------------------|-----------|----|----|----|------------------|
| 1532<br>F565 | F<br>1 | 12月11日<br>・未       | 覚             | ○(藤枝):米屋半左衛門<br>●岡の谷             | 機賃、手拭い、ろうそく、水引、足袋等の諸色9ヶ点にまとめ、これを金子にして合計3両2朱と176文。この内金として金1両を受取る。                       | 紙面上不虫損、欠字あり。<br>(旧目録P154) | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1533<br>F566 | F<br>1 | 12月12日<br>・未       | 覚             | ○(藤枝):平岡屋東平<br>●岡野谷松兵衛           | 糊、美濃紙、祝儀紙、ろうそく、長のし等の諸色代金:15匁・1貫814文。この金子1分2朱350文、受取る。                                  | (旧目録P154)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1534<br>F857 | F<br>1 | 12月15日<br>・未       | 覚             | ○米や平右衛門<br>●上河内村:松兵衛             | 3月11日以降の酒直段と銘柄を挙げ、計1貫647文、金1分受取る。  | (旧目録P154)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1535<br>F561 | F<br>1 | 12月17日<br>・未       | 覚             | ○平岡や東原<br>●木町:鉄二郎                | 金1両2分4朱、20人の分。   | (旧目録P153)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1536<br>F973 | F<br>1 | 12月23日<br>・未       | 覚             | ○奥州屋仁左衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛         | さづか、さかづき、こぶ等受取る(正月用か)  | (旧目録P154)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1537<br>F567 | F<br>1 | 12月25日<br>・未       | 覚             | ○平岡屋東平(藤枝銀杏軒)<br>●岡野谷松兵衛         | 黒絹、大中弁腕、色紙、がん、徳利等の諸色計金1両2分2朱、1匁7分、1貫506文、内返し分あり、結局差引き1両3分1朱37文、受取る。                    | (旧目録P154)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1538<br>F858 | F<br>1 | 12月25日<br>・未       | 引取            | ○米屋太右衛門<br>●松兵衛                  | 麦1俵、代金2朱472文。  | (旧目録P179)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1539<br>F859 | F<br>1 | 12月25日<br>・未       | 覚             | ○平口氏方東平<br>●岡野谷松兵衛               | 腕代金。   | (旧目録P154)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1540F<br>569 | F<br>1 | 12月26日<br>・未       | 覚             | ○米屋半左衛門<br>●岡之谷                  | 立嶋裕、相嶋裕、綿入、機賃、裕羽織、たび等16項目に示し、合計金3両2分123文。先より書出し分が金1分3朱39文。これより内金3両を12月26日に受取る。         | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1541<br>F860 | F<br>1 | 12月26日<br>・未       | 覚<br>(納品受取)   | ○いづみ屋長七<br>●上河内村:岡野谷松兵衛          | 大かつお外、正月用品の代金  | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1542<br>F861 | F<br>1 | 12月26日<br>・未       | 覚<br>(米代金)    | ○原村:七右衛門<br>●川内:松兵衛              | 米3俵4斗入れ、代金1両と489文、他に駄賃。請取相済分とあり。   | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1543<br>F806 | F<br>1 | 12月29日<br>・未       | 覚<br>(金銭取立二付) | ○上河内村:松兵衛<br>●抜里村:儀八             | 寅11月21日、金1両、請人儀八。次郎右衛門様より先達お引受けになったのだが、その後、一切連絡がないのでお尋ねする。最早、余す処もなく、年が替わるので、事お目にかかりたい。 | (旧目録P169)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1544<br>F570 | F<br>1 | 12月30日<br>・未       | 覚             | ○石神:(駿州伊久美 石甚)印<br>●上河内:岡野谷御氏    | 金3両、これは、酒代の内金として受取る。   | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1545<br>F572 | F<br>1 | 12月<br>・未          | 覚             | ○米屋半左衛門<br>●岡之谷松兵衛               | ふとん(唐芋フン、嶋フン等)、機賃、白布、手拭、ろうそく、水引、白たび等計13項目を挙げ、合計金1両3分、12匁6分とあり。                         | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1546<br>F575 | F<br>1 | 正月10日<br>・申        | おぼへ           | ○米屋半左衛門<br>●岡の谷松兵衛               | 更紗風呂敷(4)、白タビ5足、の計包2朱と837文。この内、2朱、受取る。  | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1547<br>F974 | F<br>1 | 3月20日<br>・申        | 覚<br>(麦代金の催促) | ○堀内円蔵<br>●岡ノ谷松兵衛                 | 麦4俵、金2両2朱と508文。未の勘定金3両2朱と656文。ノ金3両と116文。代金の勘定を願いたい。                                    | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1548<br>F975 | F<br>1 | 3月25日<br>・申        | 覚<br>(請取證)    | ○平岡や東平<br>●記載なし                  | 水引、食器類6件、ノ4匁2分、1貫344文。この金1分と104文、確かに受取る。   | (旧目録P155)                 | 原本        | 状  | 1  |    |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題               | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)                              | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)     | 原・<br>号区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-------------------|---|--|---------------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1549<br>F815 | F<br>1 | 4月19日<br>・未        | 覚<br>(諸色代金書上)     | ○ならや甚四郎□印(印文:駿藤枝大平村□ナ売<br>買所)<br>●笹間村御役人衆中                    | 大平村(売買所)の壬四郎が笹間村に係わる仕事を終え、その時の経費<br>の酒代、さしみ代等の領収を記す。合計金3朱と586文。  | (旧目録P155)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1550<br>F976 | F<br>1 | 6月24日<br>・申        | 覚<br>(代金受取)       | ○中村藤五郎@<br>●岡谷松兵衛   | 受取り金25両の覚  | (旧目録P155)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1551<br>F577 | F<br>1 | 7月<br>・申           | 覚                 | ○中平:かじや<br>●上河内村:松兵衛  | 正月14日より7月3日まで、鉄炮等7項目の諸色を挙げ、3貫521文、この<br>金2分と270文を受取る。  | (旧目録P155)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1552<br>F977 | F<br>1 | 7月<br>・申           | 覚<br>(金子請取の覚)     | ○米や半左衛門、小田原や東兵衛、原村:七右衛<br>門、木町:多吉、下田惣吉、山口屋<br>●上河内:庄五郎、岡野谷松兵衛 | 米屋が岡の谷から受取った金子①金1分と519文、②500文。東兵衛受<br>取り1両2朱、七右衛門受取り金3分2朱と333文。多吉受取り①金1両、<br>②金2分。惣吉受取り金3分。山口屋が庄五郎から受取り金1分と567文<br>の受取り。   | 丁数9枚綴り<br>(旧目録P155) | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1553<br>E50  | F<br>1 | 10月<br>・申          | 乍恐以書付御届申上候        | ○記載なし<br>●記載なし  | 駿州奈良間村名主九郎右衛門と遠州葛籠村作右衛門の兩人より紺屋<br>町一丁目万左衛門外73名を相手取り、江戸奉行所に訴えた。近來、茶<br>の直段が下落している。前々、江戸表に勝手次第に送っていた処、同所<br>茶問屋20軒が定まってより、直段が下落して難儀している。以前のよう<br>に、各村々より運送したいと願ったが、取りとめのない事を申し立て、甚<br>だ当惑している、何卒、ご賢察下さるよう、願ひ挙げる。 | (旧目録P88)            | 原<br>本        | 状      | 1      | ○      | 94               |
| 1554<br>F578 | F<br>1 | 11月11日<br>・申       | 覚                 | ○又平店<br>●七郎左衛門  | 大ロウソク26丁、小ロウソク20丁、右の通りとある。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1555<br>F34  | F<br>1 | 11月13日<br>・申       | 覚                 | ○小ミヤ小兵衛<br>●岡野谷松兵衛  | 900文、上醤油1樽。但し9升入れ。この代金、確かに受取る。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1556<br>F978 | F<br>1 | 12月24日<br>・申       | 覚                 | ○笹屋甚助店<br>●上  | 白九半の足袋9文の足袋、餅等、この代金1分と651文受取る。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1557<br>F979 | F<br>1 | 12月25日<br>・申       | 覚<br>(品切代金請取)     | ○(駿州藤枝):米や半左衛門<br>●上河内村:松兵衛                                   | もも引、綿入、綿小番、羽織、新切等の代金3両と708文等の記載あり。<br>これら受取り相済とある。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1558<br>F980 | F<br>1 | 12月25日<br>・申       | 覚                 | ○保福路や:権右衛門<br>●をこふち:松兵衛                                       | 金1分・400文、ふるて小立2枚、この代金儲に受取る、とある。  | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1559<br>F981 | F<br>1 | 12月26日<br>・申       | 覚                 | ○いづみ屋(藤枝木町):長七<br>●岡野谷松兵衛                                     | かつお・あげ・するめ等、ノ2貫212文。これ儲に受取る、とある。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1560<br>F982 | F<br>1 | 12月<br>・申          | 覚<br>(麦等の代金請取)    | ○木町:太左衛門<br>●岡野谷松兵衛   | 麦2石8斗5升、この代金1両2分、新麦5俵5斗入り、代金1両706文、駄<br>賃、内金合等、差引メ:金1両分1貫954文、他に、柿代金等を含め、総<br>差引き260文。   | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1561<br>F983 | F<br>1 | 12月<br>・申          | 覚<br>(大麦・小豆等代金請取) | ○やま口や庄五郎(藤枝木町)<br>●岡野谷松兵衛                                     | 大麦、米・小豆の代金と、その受取りが記載される。申の年12月よりの<br>1ヶ月3両3分余の金子が支払われ、差引2分余の金子が不足とある。  | (旧目録P156)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |



| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題                   | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・写<br>区別 | 形態 | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-----------------------|----------------------------------|---|-----------------|-----------|----|----|----|------------------|
| 1562<br>F984 | F<br>1 | 1月28日<br>・酉        | おぼえ<br>(鳩ちりめん他代金請取)   | ○糸や半左衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛          | 鳩ちりめん代1両・永400文をはじめ、網戸、玉油、花や等々、諸品物代金の合計:2両3分2朱・908文、差引合計3両2朱・600文、とある。                             | (旧目録P156)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1563<br>F583 | F<br>1 | 4月12日<br>・酉        | 覚                     | ○二郎助<br>●上さま(岡野谷)                | 酒5升2合、この代606文、内2朱受取る。242文返上、とある。  | (旧目録P156)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1564<br>F863 | F<br>1 | 4月27日<br>・酉        | 覚<br>(売掛帳)            | ○島田山形屋:〜次郎<br>●笹間村御衆中 笹間村六郎左衛門   | 食品、酒の売掛帳。   | (旧目録P156)       | 原本        | 綴り | 1  |    |                  |
| 1565<br>F985 | F<br>1 | 6月 5日<br>・申        | 書状<br>(酒1樽預かりの事)      | ○小川儀助<br>●上さま(岡野谷)               | この酒1樽、貴家に預ける(買い取り依頼の表現方)のでお願いする。  | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1566<br>L876 | F<br>1 | 7月20日<br>・酉        | 覚                     | ○惣助<br>●松兵衛                      | 丕・徳利・かき茶せん・土瓶など、全部で7点、この金7匁7分5厘、347文、これを受取る、とある。  | (旧目録P294)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1567<br>F805 | F<br>1 | 11月 6日<br>・酉       | 覚                     | ○山庄<br>●岡野谷松兵衛                   | 1、奉麦1俵、4斗入り、使い;庄二、この通りなので受取りください、とある。   | (旧目録P168)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1568<br>F987 | F<br>1 | 11月11日<br>・酉       | 書状<br>(持参古手売込案内)      | ○ぬくりむら:山下金六<br>●岡野谷松兵衛御衆中        | この度清吉が古手の品物を持参するのでは非買求めてください。直段は他の人より安くなっている。是非注文してください。注文の品が入手すればお目に掛かりたい。                       | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1569<br>F988 | F<br>1 | 12月21日<br>・酉       | 書状<br>(入津荷物内金送金願い)    | ○岡野谷松兵衛・松五郎<br>●江戸堀留町:川村重兵衛他2名   | 夏子の椎茸を送った。その内金がまだ入ってないので、この書状が届き次第送金願う。なお金子・書状ともに藤枝下伝馬町:鎌屋又助へお送り願う。金谷宿では違すぎるので。                   | (旧目録P179)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1570<br>F587 | F<br>1 | 12月26日<br>・酉       | おぼえ                   | ○(藤枝):米や半平<br>●岡野谷松兵衛            | 手拭、上履、タビ、みの紙、帯、脚絆、扇子等、延べ26品目の品物と代価を挙げ、金1両2分2朱と501文を請求、これを受取る。                                     | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1571<br>F721 | F<br>1 | 12月26日<br>・酉       | (前欠・衣類代金受取)           | ○(藤枝)米や半平<br>●岡ノ谷松兵衛             | 網子帯、木綿小帯、手ぬぐい、金巾、結城綿入等、21品目、代価と共に挙げ、その代金2両2分と58匁7分、銭3貫791文、内金1両受取り。                               | (旧目録P171)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1572<br>F989 | F<br>1 | 極月<br>・酉           | 覚<br>(まぐろ、生沙 糖等の代金受取) | ○上塩町:塩屋安平<br>●岡之谷松兵衛             | 已3月まぐろ1節350文、見月生沙糖1升100文、同七月12日塩1俵1貫673文、同9月5日塩1俵2貫文、内1分受取りの覚。                                    | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1573<br>F865 | F<br>1 | 正月19日<br>・戌        | 書状<br>(米5俵の質について)     | ○上河内村:岡野谷松兵衛<br>●二又村:西野平藏        | 先日、帳面を下やり、詰合をした。良い品物と5俵も受取ったが、存外の物で、目方も軽い様子。替わりの品も気に入らない。何分にも不要な品であるので、預かっているが、他に使い道があれば引き取ってほしい。 | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1574<br>F816 | F<br>1 | 正月26日<br>・戌        | 覚<br>(木代金書上)          | ○記載なし<br>●記載なし                   | 木材16本、代金4両3分と150文。内2朱まけ。差引4両2分2朱と150文の計算。   | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1575<br>F990 | F<br>1 | 戊3月10日             | 覚<br>(地塩七俵請取)         | ○木町:醤油や留右衛門<br>●上川内村:岡野谷松兵衛      | 地塩合計七俵を送付。この石3石5斗、金1両と1貫112文。3月9日に1両受取り、残金は1貫112文。  | (旧目録P157)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |
| 1576<br>B131 | F<br>1 | 3月29日<br>・戌        | 覚<br>(請取状)            | ○かちほし:徳左エ門<br>●川内村:松兵衛           | 3百2(4)文、山方請代。   | (旧目録P181)       | 原本        | 状  | 1  |    |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題                    | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)     | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|------------------------|--------------------------------------|---|-----------------|--------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1577<br>F747 | F<br>1 | 5月1日<br>・戌         | 覚<br>(受取)              | ○中吉◎<br>●上                           | 金10兩受取り(利子2分、惣ノ10兩と2分)  | (旧目録P174)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1578<br>F991 | F<br>1 | 戌5月8日              | 覚<br>(きせる代金請取)         | ○金具屋利助<br>●上小川内:松兵衛                  | きせる1本代金と手間代の請求書(4匁5分)。駿府札辻町刀脇差師、金具屋利助からのもの。   | (旧目録P157)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1579<br>F589 | F<br>1 | 5月23日<br>・戌        | 覚                      | ○かきや伝五郎◎<br>●上河内:岡野谷松兵衛              | 使い平左衛門に遣わしたので、受取られたい。直段については、これよりあと、時の相場にするので、ご入用の節はいつでも申し敷されたい。  | (旧目録P157)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1580<br>E11  | F<br>1 | 5月25日<br>・戌        | 煎茶仕入諸入用売払直<br>段書付難形 廻状 | ○島田御役所<br>●編網始め                      | 煎茶1本何貫目入(正味何貫)、上・中・下の茶、金1兩に付き、何貫目、運賃何程。荷主方問屋に売払った直段(上・中・下茶)。積問屋一貫次問屋一江戸問屋送り、その利潤等、報告書の書き方を詳細に示す。                        | (旧目録P291)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1581<br>F992 | F<br>1 | 5月27日<br>・戌        | 覚<br>(請取書)             | ○白井源七◎<br>●上河内:松兵衛                   | 金5兩の請取書   | (旧目録P157)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1582<br>F590 | F<br>1 | 6月5日<br>・戌         | 巻田伝四郎乗り手扱い<br>(包紙入り)   | ○焼津湊:岡部屋与左衛門◎<br>●石神:多吉、岡野谷松兵衛       | 上茶2本、長井利兵衛殿行、外大橋太郎治郎、住吉屋、若荷屋へ計6本の積立送状。  | (旧目録P157)       | 原<br>本       | 状      | 1      | ○      |                  |
| 1583<br>F898 | F<br>1 | 6月26日<br>・戌        | 口上<br>(書状)             | ○石上村:おか村六郎左エ門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛        | 御地に送る金子調達できないので、貴方がとり替えて済ませて欲しい。利金については、当暮れの村方年貢出金の内から元利共に済ませるよう。当方も来月の6~7日の両日のうち、藤枝へ出てどのようにも済ませたいと思っている。               | (旧目録P89)        | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1584<br>F993 | F<br>1 | 7月11日<br>・戌        | 覚<br>(受取)              | ○木町:醤油や留右衛門◎<br>●岡野谷松兵衛              | 醤油2口代、ノ金2朱と778文受取の證。  | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1585<br>L59  | F<br>1 | 7月11日<br>・戌        | 覚                      | ○小みや小兵衛◎<br>●岡野谷松兵衛                  | 課す人分1俵350文。同5人分1俵277文。ノ629文、金1朱と200文受取の覚  | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1586<br>F592 | F<br>1 | 7月20日<br>・戌        | 覚                      | ○宇八<br>●川内:岡野松兵衛                     | 3月2日、4月18日、7月16日の米の俵数とその代金を挙げ、金額計4兩2分9厘年、これを引合ぐされとする。   | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1587<br>F994 | F<br>1 | 7月23日<br>・戌        | 覚<br>(受取書)             | ○藤枝:米屋平兵衛◎<br>●河内:松兵衛                | 蔵米1俵(4斗入れ)、代金3分(受)取り。つり64文返し。   | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1588<br>F995 | F<br>1 | 7月30日<br>・戌        | 覚<br>(請取書)             | ○駿府札辻町:金具屋利助□印<br>●上小(ママ)川内:松兵衛      | きせる1本手間代、4匁5分、金2朱請取。つり34文返し。  | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1589<br>F35  | F<br>1 | 7月<br>・戌           | 覚<br>(米麦代金書上)          | ○山口屋庄五郎<br>●岡野谷松兵衛                   | 米4俵、小豆2俵、ノ金3兩2分、1匁4分4厘。麦10俵(2月)麦3俵(7月)、計金5兩2朱、3匁5分4厘。   | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1590<br>L60  | F<br>1 | 8月<br>・戌           | 覚                      | ○かきや伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                   | 金11兩3分2朱と千285文、8月12日と16日分のあら麦2俵。どちらも1石5斗替え。この金2分2朱と268文。新米1俵112文替え、この代4貫500文。750文は駄賃。虫喰あり。                              | (旧目録P158)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1591<br>D208 | F<br>1 | 9月26日<br>・戌        | 急廻文<br>(包紙)御差紙写        | ○榊原主計頭<br>●駿州志太郡窪間村名主:松兵衛<br>他14名の名主 | 尋ねることがあるので、出張せよ。たとえ病気であっても代理人は駄目である。病気なら、駕籠で出張せよ。欠席は由事である。以上の差紙が届いたので、知らせる。近日、参会して相談したい。出府費用の事もあるので知らせる。(文政茶一件に関することか)。 | (旧目録P222)       | 原<br>本       | 状      | 1      | ○      |                  |

| 通し番号<br>整理番号   | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題               | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)  | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>字区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|----------------|--------|--------------------|-------------------|-----------------------------------|---|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1592<br>F421   | F<br>1 | 10月27日<br>・戌       | (椎茸受取状)           | ○(焼津藩):巻田久衛門<br>●岡野谷松兵衛、下田惣吉      | 上 椎茸1個を小田原屋長衛宛に積立、出荷した旨を伝える。                          | (旧目録P104)       | 原<br>本        | 状      | 1      | ○      |                  |
| 1593<br>F593   | F<br>1 | 11月17日<br>・戌       | 覚                 | ○いせや万之助<br>●上                     | 「唐胴地紋附、花生1対」、代26匁2分5厘。この金1分2朱を受取る。                    | (旧目録P158)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1594<br>F399   | F<br>1 | 12月12日<br>・戌       | 覚<br>(金子請取書)      | ○大口格平<br>●上                       | 半天他3件。代ノ1両3朱と(銭)1貫690文の請取書。                           | (旧目録P158)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1595<br>E80    | F<br>1 | 12月24日<br>・戌       | 覚                 | ○下伝馬町:すや店<br>●記載なし                | 酢2斗、この代132文、内金1朱を受取る。引いて282文差上げる、とある。                 | (旧目録P158)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1596<br>F596   | F<br>1 | 12月24日<br>・戌       | 覚                 | ○平口屋東平<br>●岡野谷松兵衛                 | 茶わん、なまり等、諸品3点、計577文、内金2朱受取る、とある。                      | (旧目録P158)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1597<br>F867   | F<br>1 | 12月24日<br>・戌       | 書状<br>(用事入り)      | ○柿屋伝四郎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛            | 柿代金として3両支払うので受取られたし。                                  | (旧目録P158)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1598<br>F817   | F<br>1 | 12月25日<br>・戌       | 覚<br>(酒代支払)       | ○万年庄七右衛門(藤枝上伝馬)<br>●一色村:兵藏        | 金300文、上酒1升、これ儲に受取り相済み、とある。                            | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1599<br>F997   | F<br>1 | 12月25日<br>・戌       | 覚<br>(受取書)        | ○日本橋室町、飛脚問屋:京屋弥兵衛<br>●岡野谷松兵衛      | あみ入れ風呂敷2ノ500匁、金1分・70文の受取り。「右の通り相違なくお届け申し候」、とある。       | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1600<br>F598   | F<br>1 | 正月<br>・亥           | 仕入れ諸掛り<br>(諸品仕入帳) | ○記載なし<br>●記載なし                    | 諸品の名称、数量、仕入値を記載、酒1升108文、大豆1升56文、酢1升100文、紙1状(条)350文、等。 | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 横<br>帳 | 1      |        |                  |
| 1601<br>F889-1 | F<br>1 | 2月 5日<br>・亥        | 覚<br>(請取)         | ○二<br>●上                          | もち米7升、この金1分2朱・178文、1分3朱受取る。つり237文返し、とする請取書。           | (旧目録P169)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1602<br>F599   | F<br>1 | 3月25日<br>・亥        | 覚                 | ○二又:平四郎(駿州伊久美二西野)<br>●上川内邑:岡野谷松兵衛 | 「金2分也、これは荷籠代の内金として受取る」とある。                            | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      | ○      | 94               |
| 1603<br>F600   | F<br>1 | 3月28日<br>・亥        | (金子請取の覚)          | ○石神:多吉<br>●岡野谷松兵衛                 | 金1分、使い:平右衛門、これ儲に受取る、とある。                              | (旧目録P185)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1604<br>E77    | F<br>1 | 3月29日<br>・亥        | (椎茸仕入)            | ○三度:西沢文藏<br>●上河内:松兵衛              | 椎茸1石5斗2升入り1本、松兵衛行き、とある。                               | (旧目録P102)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1605<br>F602   | F<br>1 | 4月12日<br>・亥        | (金子請取の覚)          | ○柿屋伝四郎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛            | 3番皆1俵、金3両、これ儲の分として受取る、とある。                            | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題          | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|--------------|----------------------------------|--|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1606<br>F603 | F<br>1 | 4月12日<br>・亥        | 覚            | ○下総(印=駿河国瀬戸谷)<br>●上さま            | 金1両、これ儘に受取る、とある。   | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1607<br>F604 | F<br>1 | 4月12日<br>・亥        | (金子請取の覚)     | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両、これ儘に受取る、とある。   | (旧目録P185)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1608<br>F605 | F<br>1 | 4月12日<br>・亥        | 覚            | ○山口屋庄五郎(藤枝木町)<br>●岡野谷松兵衛         | 3月23日より大疋5俵、この直段1両1分2米と88文、内金1分・700文、<br>差引き金1両・224文の請取とある。  | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1609<br>F606 | F<br>1 | 4月22日<br>・亥        | 覚            | ○柿屋伝四郎<br>●岡野谷松兵衛                | 1、銭10貫900文、4月25日、銭9貫800文、 $\wedge$ 20貫700文、この金3<br>両、これを受取る。   | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1610<br>F607 | F<br>1 | 5月26日<br>・亥        | 覚            | ○柿屋伝四郎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛           | 金3両、但し銭分、これ儘に受取る、とある。  | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1611<br>F998 | F<br>1 | 6月12日<br>・亥        | 覚<br>(上米代請取) | ○島田新田:春吉<br>●御地御苗:松兵衛            | 上米1俵(4斗入り)、この金 内金3分、使い:長助に渡されたい、とある。   | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1612<br>F42  | F<br>1 | 7月 6日<br>・亥        | 覚<br>(米勘定の覚) | ○(伊久美)西野平四郎<br>●岡野谷松兵衛、          | 2月10日～5月4日に至る渡米とその金額が記載される。例:2月10日・<br>16日・晦日、合計6俵、この金5両2分 $\wedge$ 12匁8分4厘、とある。あと一通<br>は、金3分・1匁2分9厘の差しだしの覚。 | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1613<br>F618 | F<br>1 | 7月7日<br>・亥         | (金子請取の覚)     | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金2分、この使い:平左衛門、これ儘に受取る、とある。   | (旧目録P185)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1614<br>F792 | F<br>1 | 7月11日<br>・亥        | 覚            | ○柿屋伝五郎(藤枝吹屋町)<br>●上河内村:岡野谷松兵衛    | 23番つき敷、使い:平左衛門、1両に7斗1升かへ、内金3両(小豆のこ<br>とカ)、この内金、確かに受取る、とある。   | (旧目録P159)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1615<br>F824 | F<br>1 | 7月13日<br>・亥        | 覚<br>(代金請取)  | ○柿屋伝五郎(藤枝吹屋町)<br>●岡野谷松兵衛         | 金2両、大平左衛門 確かに受取る、とある。  | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1616<br>F793 | F<br>1 | 7月20日<br>・亥        | 書状<br>(包紙入り) | ○かきや伝五郎(藤枝)<br>●岡野谷松兵衛           | この度米価調へ書を差上げるので確かめ願う。当時より段々安価になっ<br>て来ている、などを伝える。  | (旧目録P160)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1617<br>F610 | F<br>1 | 8月<br>・亥           | 覚            | ○奥州屋 弘左衛門<br>●上河内 岡野谷松兵衛         | もち米、むしろ、米など、 $\wedge$ 6両3分1朱・6貫861文、この内 金4両を受<br>取る、とある。   | (旧目録P160)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1618<br>F611 | F<br>1 | 10月 3日<br>・亥       | 覚            | ○かきや伝五郎(藤枝吹屋町)<br>●上河内 上様        | 金5両の請取書、たしかに受取る。他に銭6貫900文、とある。   | (旧目録P160)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1619<br>F612 | F<br>1 | 10月17日<br>・亥       | 覚            | ○柿屋伝五郎<br>●上河内 岡野谷松兵衛            | 金1両、銭代、これ確かに受取る、とある。   | (旧目録P160)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------|----------------------------------|--|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|
| 1620<br>F613  | F<br>1 | 10月17日<br>・亥       | 覚               | ○柿屋 伝五郎(藤枝吹屋町)<br>●上河内:岡野谷松兵衛    | 米1俵、使い:平右衛門、両に8斗2升かへ、このように受取る、とある。   | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1621<br>F614  | F<br>1 | 10月25日<br>・亥       | 覚               | ○宮原村:柳八<br>●岡野谷松兵衛               | 金1両、米代手付 これ確かに受取る。   | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1622<br>E76   | F<br>1 | 11月29日<br>・亥       | (椎茸仕入証文)        | ○三双:西沢文蔵<br>●上川内:松兵衛             | 椎茸1本、1石5斗2升入り、使い:平助、文蔵より松兵衛行き、とある。   | (旧目録P102)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1623<br>F615  | F<br>1 | 12月24日<br>・亥       | 覚               | ○ぬくり:こんや<br>●上河内村:清八             | 1、大布5枚分、きれ5ツ、染め代814文、上、1、140文、五左衛門・藤右衛門・清左衛門、1、100文、羽織色場、彦右衛門分、合計1貫54文、これ確かに受取る、とある。     | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1624<br>F1086 | F<br>1 | 正月 2日              | 覚               | ○二又:平内<br>●上サマ                   | 1貫114文、1斗7合、7日内金1分、差引き484文渡し、とある。  | (旧目録P176)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1625<br>F616  | F<br>1 | 正月 8日              | 覚<br>(請取)       | ○二又 酒や<br>●上                     | 1、金410文に対して2朱(この錢448文)取、差引き439文通分、勘定済み   | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1626<br>F617  | F<br>1 | 正月13日              | 覚<br>(金子請取證)    | ○米屋半左衛門(駿州藤枝)<br>●岡野谷松兵衛         | 金5両、これ確かに受取る、とある。  | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1627<br>F778  | F<br>1 | 正月15日              | 書状<br>(包紙入り)    | ○柿屋伝五郎<br>●岡野谷松兵衛                | ①年頭挨拶と餅米を近く送るの報せ、②送状 左東 勇印、同じく無印入金2分2朱・500文、③あらま、米売り渡し明細ノ27両3分・963文、請取残り金2分・700文(左東を含む)。 | (旧目録P145・146)   | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1628<br>F427  | F<br>1 | 正月18日              | 覚<br>(薬品代請取證)   | ○藤枝 近江屋茂右衛門<br>●川根:嘉兵衛           | ①薬3件、ノ1貫32文(正月18日)、②薬2件、金2朱・錢232文(正月26日)、この請取證である。                                       | (旧目録P172)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1629<br>F37   | F<br>1 | 正月22日              | 覚<br>(書状)       | ○甚蔵<br>●河内村:松兵衛                  | 上物2俵、よせ2俵、使いにて、これは先に送ってくださった。妻のこと忝けない。については金子1両借用したくこれお願い。                               | (旧目録P131)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1630<br>F405  | F<br>1 | 2月 2日              | 書状<br>(お茶仕切りの件) | ○長崎瀬兵衛・吉兵衛・利兵衛<br>●岡野谷松兵衛        | 仕切書を送るので御覧ください。10月までは稀に見る不景気だったのでどうなるか心配したが、旧冬より追々回復して来たので、相変わらず当方へお任せ願う、との書状。           | (旧目録P266)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1631<br>F618  | F<br>1 | 2月 4日              | 書状              | ○宇八<br>●岡野谷松兵衛                   | 炭の取引の値段について、今は下落し時期が悪いので、今回は見合わせる、又相談したい、との書状。   | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1632<br>F406  | F<br>1 | 2月11日              | 覚<br>(米・大豆請取状)  | ○原村:七右衛門、<br>●川内村:松兵衛            | 米1俵、大豆俵を受取る。大小豆については、下値につき、未だ買い手がないので、このこと承知して欲しい。                                       | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1633<br>F1002 | F<br>1 | 2月13日              | 書状              | ○小川:石神甚左衛門<br>●上河内:岡野谷松兵衛        | 當年も大豆1俵無心したい。割り合わせがあるならばこの使いの者に渡してもらいたい。代金は分らないので取りあえず金2分2朱差上げるので、請取願う。                  | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1634<br>F408  | F<br>1 | 2月14日              | 送状<br>(餅米)      | ○原村 七右衛門<br>●河内村:松兵衛             | 餅米1俵4斗、これ確かに受取る。尚また種大豆は近く下落の様子が見えるので見合わせてください、と知らせる。                                     | (旧目録P160)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |

| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)    | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・写<br>区 別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------|-------------------------------------|--|-----------------|------------|-----|-----|-----|------------------|
| 1635<br>F619  | F<br>1 | 2月16日              | 覚<br>(包紙入り)     | ○鍵屋又助<br>●岡野谷松兵衛                    | 勘定覚書に関する口上書きが前文にあり、覚書として、500文平口五郎右衛門が受取るその金子の内、278文長井様渡し、差引き218文、山口屋へ渡す分とする、とあり。 | (旧目録P184)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1636<br>F620  | F<br>1 | 2月17日              | 覚<br>(稗代請取)     | ○平口五兵衛(身成)<br>●おかのや松兵衛              | 金 1両2分1朱・163文、釋5俵代、他手間賃、ノ金1両3分2朱・242文、内金又金残らず相済、とある。                             | (旧目録P161)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1637<br>F1003 | F<br>1 | 2月20日              | 送り状             | ○松右衛門<br>●松兵衛                       | ①上もち1俵、4斗入り、これを受取る。②よむき1〜2升、これがもしあるならば買いたい、以上お願い、とある。                            | (旧目録P179)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1638<br>F1004 | F<br>1 | 2月20日              | 書状              | ○塩屋長兵衛<br>●上川内:五左衛門                 | 琉久24枚、むしろ5枚添え、賃350文定め、とある。   | (旧目録P179)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1639<br>F1005 | F<br>1 | 2月20日              | 送り状             | ○藤枝宿:塩屋長兵衛 使い:堀内 久兵衛<br>●上川内:五郎衛門   | 琉久24枚、むしろ4付き、とある。  | (旧目録P179)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1640<br>F1007 | F<br>1 | 2月23日              | 覚<br>(請取書)      | ○島田:平左衛門<br>●上河内村:松兵衛               | 糶3斗5升の代金、2貫624文、金2分請取、648文返す、とある。  | (旧目録P161)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1641<br>F1008 | F<br>1 | 2月25日              | おほへ<br>(筵代金の請取) | ○塩屋長兵衛<br>●上河内御若衆中                  | むしろ142枚、琉珠110枚m、代金2両、使い:周造により確かに受取った、との覚書。                                       | (旧目録P161)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1642<br>F1009 | F<br>1 | 2月25日              | 送り状             | ○藤枝宿上伝馬:塩屋長兵衛<br>●上河内世話人衆           | むしろ25枚の送り状   | (旧目録P180)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1643<br>F195  | F<br>1 | 2月26日              | 覚               | ○(本町4丁目)大橋太郎次郎(20軒仲間の1人)<br>●岡野谷松兵衛 | 金30両を送金、あらためて請取り願う、江戸20軒仲間より岡野谷への金子送金。   | (旧目録P254)       | 原 本        | 状   | 1   | ○   | 94               |
| 1644<br>F1010 | F<br>1 | 2月27日              | 覚               | ○仁左衛門<br>●河内:松兵衛                    | 1、金10両、確かに受取る、使い:岩吉、(内訳不明)、とする覚。   | (旧目録P161)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1645<br>F735  | F<br>1 | 2月                 | 覚               | ○浅右衛門<br>●上サマ                       | 酒7斗2升、代:6貫900文、金1両・100文、内金1両とり、とある。  | (旧目録P173)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1646<br>F796  | F<br>1 | 3月 5日              | (品物代金請取)        | ○江戸大伝馬町:大丸屋由兵衛<br>●松本様              | 黒しゆ上織鳩、他品物代金請求明細。  | (旧目録P161)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1647<br>F795  | F<br>1 | 3月 5日              | (代金請求)          | ○江戸大伝馬:大丸屋由兵衛<br>●松本                | 買上げ代金の請求、計278両2分、代金4両2分2朱の請取。  | (旧目録P176)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1648<br>F1011 | F<br>1 | 3月 6日              | 書簡<br>(椎茸取引の状)  | ○神田連雀町:小田原屋長兵衛<br>●駿州上河内村:岡野谷松兵衛    | 椎茸:秋子、春子の相場等を報せ、春子を出来次第船積みにて送って欲しい、と伝えたもの。                                       | (旧目録P103)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)         | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------|--|---|-------------------|------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|
| 1649<br>F196  | F<br>1 | 3月12日              | 欠<br>(金子帳消依頼)   | ○いせや清兵衛<br>●岡野谷松兵衛                       | 前欠、内容を計りかねるが、終わりの部分に、「残金は帳消しに願いたい」とある。  | (旧目録P249)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1650<br>F197  | F<br>1 | 3月14日              | 口添<br>(注文の品に付き) | ○山本屋清兵衛<br>●上河内村:岡野谷松兵衛                  | 先達の注文の品が出来たので改めの上入手されたい。なお御用向き多少に係わらず御せ付けられたい、とある。  | (旧目録P180)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1651<br>F14   | F<br>1 | 3月17日              | 欠<br>(茶一件の内容)   | ○奈良間村:小林九郎左衛門、上長尾村:小沢佐次右衛門<br>●御村々御役人中サマ | 文政の茶一件の裁判内容に付き報告書、2月10日の呼出内容から2月20日までの内容のあらましを報告したもの。茶問屋で平均300目引きとしているが、これを阻止すべく掛けあったが、破談となる。以前は前金払いであったものが、近年は茶の値段が変動するので、後払いとなっている、等々、江戸よりの報告である。 | 丁敷6枚<br>(旧目録P222) | 原<br>本           | 堅<br>帳 | 1      | ○      | 94                                   |
| 1652<br>F622  | F<br>1 | 3月20日              | 覚               | ○二又:二郎助(伊久美 西野)<br>●上サマ                  | 靴2斗5升の代金1貫406文、内 金2分精取、差引き1分・206文返す、とある。  | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1653<br>F1078 | F<br>1 | 3月21日              | 覚<br>(金銭預かり)    | ○藤枝本町:八木屋太吉<br>●上河内:松兵衛                  | 1、金1両、これ確かに預かる(伊兵衛より)、とする金銭あずかり。  | (旧目録P176)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1654<br>F872  | F<br>1 | 3月22日              | 書状<br>(前欠文章)    | ○青雲院院主<br>●岡野谷松兵衛                        | 村方にお願した仕切り判のことについての記述。前文欠落。   | (旧目録P180)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1655<br>F1012 | F<br>1 | 3月22日              | 覚<br>(焼酎代精取)    | ○イ<br>●上                                 | 焼酎代金3朱を受取、つり272文受取る。  | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1656<br>F1013 | F<br>1 | 3月23日              | 覚               | ○いづのや平六、しずや安平<br>●上河内村:岡野谷様              | 金銭精取勘定、14両1分2朱、内2両・6両・6両1分2朱精取り。つり銭1朱・552文を返す。  | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1657<br>F623  | F<br>1 | 3月24日              | 覚<br>(金子精取に付き)  | ○立木屋<br>●記載なし                            | 1、7貫文・1、4貫文、1、1貫文684文、合計12貫684文、合計金1両3分2朱、代金取り済み。   | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1658<br>F624  | F<br>1 | 3月24日              | 覚<br>(反物仕切代金)   | ○鍋屋安兵衛<br>●上                             | 唐花(文様)、唐織等、合わせて反物5品、メ金1両1分2朱、   | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1659<br>F625  | F<br>1 | 3月30日              | 覚<br>(金子精取に付き)  | ○藤枝:鍋屋文左衛門<br>●河内:岡野谷松兵衛                 | 1、金2分、鍋の代、この所へ162文渡す。右の通り鍋代金を確かに受取る。  | (旧目録P161)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1660<br>F626  | F<br>1 | 3月                 | 覚(受取り)          | ○ふじ枝:与助<br>●上河内村:岡野谷                     | 1、金3両2朱、大幕付き、これ受取る。   | (旧目録P162)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1661<br>F627  | F<br>1 | 4月朔日               | 覚               | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                        | 金1両、これを受取る。(品目不明)。  | (旧目録P185)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1662<br>F798  | F<br>1 | 4月朔日               | 覚               | ○山口屋庄五郎(藤枝木町)<br>●岡野谷松兵衛                 | 3ばん 大麦1俵、使い:与市、これ受取りください、とある。   | (旧目録P162)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1663<br>F628  | F<br>1 | 4月3日               | 覚<br>(受取書)      | ○山口屋庄五郎(藤枝木町)<br>●岡野谷松兵衛                 | 米代メ金3両2分2朱・6匁2分2厘のところ、金3両3分受取る。つり137文渡し。  | (旧目録P162)         | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題              | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)        | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ)     | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|------------------|---|---|---------------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1664<br>F198  | F<br>1 | 4月4日               | 舌代<br>(あら麦送りの件)  | ○長楽寺丁:幸吉<br>●上河内:岡野谷松兵衛                 | 三平殿約束のあら麦4俵差上げるところ、値段に勘定違いあり、対談の値段で2俵送るので、受取られたし、との連絡。                | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1665<br>F410  | F<br>1 | 4月10日              | 覚<br>(米1俵受取)     | ○七右衛門<br>●川内村:松兵衛                       | 17番米1俵、使い清右衛門。右、改めてお受取願いたい。   | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1666<br>F629  | F<br>1 | 4月13日              | 覚<br>(納品書)       | ○二又村:福井久左衛門、使い忠左衛門◎<br>●上河内村:岡野谷        | 中子(ママ)椎茸2口、合わせて1石9斗9升5合。右の通り。   | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1667<br>F630  | F<br>1 | 4月19日              | (覚・金子請取)         | ○木町:多吉(石神)<br>●上河内村:岡野谷松兵衛              | 金1両請取(品目不明)。  | (旧目録P186)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1668<br>F1016 | F<br>1 | 4月19日<br>・辰        | 覚<br>(米売買のこと)    | ○(藤枝原村):七右衛門<br>●川内:松兵衛                 | 22日、糯米、1俵4斗入れ、23日、同じく1俵、お改め下さい。この節、米が高値になっているが如何にするか。金3両、米代金を確かに受取った。 | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1669<br>Z3    | F<br>1 | 閏4月24日             | 覚<br>(菜買付けの仕切)   | ○井出<br>●岡野谷松兵衛                          | 菜類13品目、ノ74匁6分2厘(重さ)。この金1両2朱と7匁1分2厘(銀)の仕切。                             | (旧目録P322)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1670<br>F1017 | F<br>1 | 4月28日              | 覚<br>(荒麦等代金受取り)  | ○奥州屋佐助<br>●岡谷松兵衛                        | 荒麦4俵、2両と1貫200文。蕎麦1俵3分と600文。ノ8両3分2朱5貫112文。その外、1分と229文受取りの覚。            | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1671<br>F631  | F<br>1 | 4月                 | 覚<br>(金子請取)      | ○木町:多吉◎<br>●岡野谷松兵衛                      | 金1両の請取(品目不明)。   | (旧目録P186)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1672<br>F1075 | F<br>1 | 4月                 | 覚                | ○記載なし<br>●記載なし                          | 品代勘定の覚(11月15日～21日)。10口の内、3口の請取、800文とあり。                               | 汚れ、虫食い<br>(旧目録P132) | 原<br>本        | 綴<br>り | 1      |        |                  |
| 1673<br>F632  | F<br>1 | 5月3日               | 覚                | ○(藤枝):米屋半左衛門◎<br>●岡之谷松兵衛                | 金1両の請取(品目不明)。   | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1674<br>F686  | F<br>1 | 5月4日               | 覚<br>(受取証)       | ○米半◎<br>●岡野谷松兵衛                         | 金2朱と400文、儲に受取る。   | (旧目録P167)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1675<br>F1019 | F<br>1 | 5月8日               | 仕切<br>(秋椎茸等の仕切)  | ○小田原屋長兵衛<br>●岡野谷松兵衛                     | 仕切り売りとして、「上へ秋椎茸1本(8分6本入れ)、167匁4分(駄賃、船賃等を含む)、ノ2両2匁と3匁6分8厘の仕切り。         | (旧目録P103)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1676<br>K95   | F<br>1 | 5月8日               | 廻文<br>(包紙、大々講案内) | ○大々講世話人・地名村:作兵衛<br>●笹間村上組下組:御役人衆中、信心御連中 | 延び延びになっていた秋葉山大々講、我等世話人が登山氏、相談の結果、木たる21日、御祈禱執行になる。講中申合せ、御参詣の程。         | (旧目録P136)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1677<br>X151  | F<br>1 | 5月8日               | 書簡<br>(椎茸送りのこと)  | ○川村:十藏、忠兵衛<br>●岡野屋松兵衛                   | 春子椎茸荷送りの件につき、報告。  | (旧目録P305)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1678<br>F635  | F<br>1 | 5月11日              | 覚                | ○吉永屋<br>●上河内:岡野谷                        | 米集荷の報告。   | (旧目録P162)           | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |



| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題                           | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)              | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原・写<br>区別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-------------------------------|---|---|-------------------|-----------|--------|--------|--------|------------------|
| 1679<br>F636  | F<br>1 | 5月16日              | 覚<br>(酒代受取書)                  | ○駿州伊久美:二郎助◎<br>●吉藤                            | 生酒3斗8升9合、代金2分2米と38文。金1両受取り、1分と775文返渡す。  | 虫食い多<br>(旧目録P162) | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1680<br>X147  | F<br>1 | 5月19日              | 覚<br>(請取書)                    | ○二又:西野◎<br>●上河内村:「上                           | アて1貫160文、請取。差引き452文、渡す。   | (旧目録P305)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1681<br>F637  | F<br>1 | 5月21日              | 覚                             | ○米や半左衛門◎<br>●岡野谷松兵衛                           | 金1両2朱、かや代金領収。   | (旧目録P162)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1682<br>F38   | F<br>1 | 5月25日              | (駄賃金請取の覚)                     | ○木町:石神多吉<br>●岡野谷松兵衛                           | 駄賃金1両、受け平右衛門。右の通り、儘に請取る。  | (旧目録P186)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1683<br>Z20   | F<br>1 | 5月26日              | 書状<br>(嶋田御役所江申上置<br>一件)(包紙あり) | ○岡村六郎左衛門(上組名主)<br>●岡野(谷)松兵衛(下組様元)             | 嶋田御役所に申上げた一件が、未だ沙汰なし。私が出かけようと思うが、遠方なので、丈右衛門を遣わす。遠方なので、峠で出会うようにしたいので、ご承知願いたい。明日は早朝出立するので、丈右衛門の口上を聞いて欲しい(茶一件カ)。         | (旧目録P323)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1684<br>F640  | F<br>1 | 閏5月28日             | 覚                             | ○(藤枝木町):山口屋庄五郎<br>●岡野谷松兵衛                     | 大麦3袋、この代金3両と1貫500文、以上、品物渡し相済み。  | (旧目録P163)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1685<br>F641  | F<br>1 | 6月朔日               | 覚                             | ○木町:多吉◎<br>●岡野谷松兵衛                            | 金1両請取の覚状。   | (旧目録P186)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1686<br>F799  | F<br>1 | 6月1日               | 覚                             | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                             | 金1両、これ儘に請取るとある。   | (旧目録P186)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1687<br>F39   | F<br>1 | 6月2日               | 書状<br>(茶積送り依頼)                | ○茗荷屋善五郎、徳兵衛、平兵衛◎(印文:大伝<br>馬一丁目茗荷屋)<br>●岡野谷松兵衛 | この度、新茶内金として10両を送ったので、着次第お改めの上、受取り願いたい。荷物は多分に積み送り願いたい。当方も出積して扱う。相違は、今の所変化はないが、今年は諸国霜当りなので、今後はどうなるか、何卒、今後とも引き立てていただきたい。 | (旧目録P276)         | 原<br>本    | 状      | 1      | ○      | 94               |
| 1688<br>F642  | F<br>1 | 6月2日               | 覚<br>(代金皆済に付)                 | ○堀之内村:かじや吉藤<br>●上河内村:松兵衛                      | 4貫36文、釘代。内金2分、請取。5月26日、600文、板付釘15匁。とはぎ釘代600文。はめ釘400文。計1貫600文。引合計2貫236文、儘に皆済した。  | (旧目録P163)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1689<br>F1021 | F<br>1 | 6月2日               | 覚<br>(大麦買い注文)                 | ○ 田<br>●「上                                    | 惣五郎からの大麦、平麦、石6斗8升買いの覚。  | (旧目録P163)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1690<br>F643  | F<br>1 | 6月3日               | 覚<br>(受取書)                    | ○鯛屋幸助<br>●松平                                  | 越後縮帷子仕立代金3両2分1朱、内金として、3両受取の證。   | (旧目録P163)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |
| 1691<br>F644  | F<br>1 | 6月5日               | 覚                             | ○木町:多吉◎(印文:石神 多吉)<br>●岡の谷松兵衛                  | 金1両請取の覚状  | (旧目録P186)         | 原<br>本    | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題                         | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)         | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------------------|--|--|-------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1692<br>F1022 | F<br>1 | 6月5日               | 覚                           | ○久元<br>●上                                | 竹永、かんざし、下駄等、高計金額2貫264文。内金2分、受取る。   | (旧目録P163)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1693<br>G469  | F<br>1 | 6月7日               | 書状<br>(江戸積送りの茶に抹香<br>付着のこと) | ○さき間:久左衛門<br>●岡野谷松兵衛                     | 先達で津出しの茶荷物の内四本、江戸に着いた分、豆州戸田の船で勇助乗りで、ここに積み入れた茶に抹香の香りの付いた分は売り捌きが難しい。これは、船手の始末となるか否か、その答えを待っているとのこと、承知した、とある茶販売に係わる手紙。                      | (旧目録P180)         | 原 本       | 状   | 1   | ○   | 94               |
| 1694<br>F645  | F<br>1 | 6月7日               | (金子請取状)                     | ○木町:多吉◎(印文:石神 多吉)<br>●岡野谷松兵衛             | 金1両、儲に受取る。   | (旧目録P186)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1695<br>F201  | F<br>1 | 6月9日               | 舌代<br>(あら麦代金の受取り)           | ○長楽寺丁:幸吉<br>●上河内:岡埜谷                     | 先日差上げたあら麦2俵の代金、使いの者にお渡し願いたい。受取書:2分と324文(あら麦2俵、但し5斗入れ)、この通り、儲に受取る。  | (旧目録P163)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1696<br>F821  | F<br>1 | 6月11日              | 覚<br>(金子請取證)                | ○(藤枝)木町:(石神)多吉<br>●岡の谷松兵衛                | 金1両、儲に受取る。   | (旧目録P186)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1697<br>F1023 | F<br>1 | 6月11日              | 書状                          | ○原村:滝七右衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛                | 今日、米代金5両、儲に受取る。この節、追々米値段引き上がり、7月までに田中米29俵の内、28俵分買入れあり。多くて一向に引合がなくて困っている様子を伝える。   | (旧目録P163)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1698<br>E103  | F<br>1 | 6月12日              | 書状<br>(秋子仕切り外、同封)           | ○江戸:小田原や兆兵衛、宗兵衛<br>●駿州川根上河内村:岡野谷松兵衛御家内乗中 | (秋子の仕切りあり)。秋子の仕切りを送るべき処、旧冬押し詰まり、類焼などにて延引した。当方も昨年は不景気にて、相場も大きく下落した。代金1両1朱113文、お送りする。又、春子も所持していたらお送り下さい。当時、上物で13両より5分、下落している。早々、仕切りをお送りする。 | (旧目録P103)         | 原 本       | 状   | 2   |     |                  |
| 1699<br>F1024 | F<br>1 | 6月13日              | 覚<br>(米代金受取)                | ○下田惣吉◎<br>●岡の谷松兵衛                        | 米代金2両、受取の覚書。   | (旧目録P163)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1700<br>F649  | F<br>1 | 6月15日              | 覚                           | ○木町:多吉◎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛                  | 駄賃金1両(受 平左衛門)。請取金の覚状。  | (旧目録P186)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1701<br>F650  | F<br>1 | 6月15日              | 覚                           | ○木町:多吉(石神)<br>●岡の谷松兵衛                    | 金1両、受 平左衛門、これ儲に受取る。  | (旧目録P187)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1702<br>F1025 | F<br>1 | 6月19日              | おぼへ                         | ○と<br>●春吉                                | りょう天上政1本、ふじ上たまご半玉、へて右の品物を整えていただきたい。  | (旧目録P163)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1703<br>F651  | F<br>1 | 6月20日              | 書状<br>(用立金子のこと)             | ○二又:茂兵衛<br>●岡野谷松兵衛                       | 用立金子のこと。9月自分までの内に都合付けてくれるとの事、承知。当方も送ってくる金子がいつもと違って減って入るのが気になる。尤も、茶の値段が昨年より上物が1割下げ位になっているとのこと。  | (旧目録P131)         | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1704<br>F1026 | F<br>1 | 6月20日              | 覚<br>(鐘代金受取)                | ○平口五郎右衛門◎<br>●岡の谷松兵衛                     | 鐘について、儲に受取った。その勘定(金25両)の節は、宜しく願います。  | 虫喰あり<br>(旧目録P163) | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題            | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)        | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |
|---------------|--------|--------------------|----------------|---|---|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|
| 1705<br>F646  | F<br>1 | 6月21日              | 書状             | ○本町:八木太<br>●おかのや松兵衛                     | 依頼された春売りの品物、入用ならば20ばかり差上げたい。値段から2石3斗5升まで売りたいとの事、当晦日までに代金を支払って欲しいとの事。  | (旧目録P163)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1706<br>F654  | F<br>1 | 6月22日              | 覚              | ○本町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                       | 金1兩の受取りの覚。  | (旧目録P187)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1707<br>E88   | F<br>1 | 6月23日              | 覚              | ○平村七右衛門<br>●松兵衛                         | 銭20貫772文、これを受取りください、とある。  | (旧目録P164)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1708<br>F1027 | F<br>1 | 6月23日              | 書状<br>(売り山の相談) | ○二又:西の民蔵<br>●上河内:岡野谷松兵衛                 | 先日山一件に付いてお願いしたところ、買い山したいとの覚でお返し下さいました。先日申上げた通り、払い山があるので相談したい。委細はお目にかかり申上げる、と伝える。  | (旧目録P118)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1709<br>F40   | F<br>1 | 6月24日              | 覚              | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                       | 「金1兩、平左衛門様、右の通り儲に請取申し候、以上」とある。  | (旧目録P187)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1710<br>F822  | F<br>1 | 6月25日              | 覚<br>(代金の受取り)  | ○原村七右衛門(駿州藤枝原町滝下の印あり)<br>●岡野谷松兵衛        | 銭12貫200文 金2兩分改めお請取願う、とある。   | (旧目録P164)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1711<br>F655  | F<br>1 | 6月26日              | 覚              | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                       | 金1兩の受取りの覚。  | (旧目録P187)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1712<br>F801  | F<br>1 | 6月26日              | 覚              | ○二又:浅右衛門(駿州伊久美村)、代:二郎右衛門<br>●上河内:岡野谷松兵衛 | 1、1分・200文、長嶋:六郎兵衛分、これ儲に受取る、とある。   | (旧目録P163)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1713<br>F876  | F<br>1 | 6月26日              | おぼへ<br>(麻代等)   | ○家山:つたや<br>●記載なし                        | 麻代等ノ2分3米・165文、内:金1兩、つり金1分・227文、とある。   | (旧目録P164)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1714<br>F1077 | F<br>1 | 6月27日              | 覚 等            | ○柿谷伝五郎 他<br>●岡野谷松兵衛                     | 次の3つ点の一紙文書を一括したもの。①覚:あら麦、切り素麵、本麦など生活必需品の購入控。②油屋四郎右衛門へ売りつけた処、3斗2合になって気の毒だが左様承知願う、と伝える ③米を買上げたがお金に差支え、5兩ばかり貸して欲しい、若しあなたが入用の折には追て差上げるので、このことよろしく、との願状。 | (旧目録P176)       | 原<br>本           | 状      | 3      |        |                                      |
| 1715<br>F414  | F<br>1 | 6月28日              | 覚<br>(預り證)     | ○板屋与兵衛(江戸24組)<br>●岡野谷松兵衛                | 「金4兩3分、仕切金、4匁引き、銀として預り」とある。   | (旧目録P131)       | 原<br>本           | 状      | 1      | ○      | 94                                   |
| 1716<br>F656  | F<br>1 | 6月29日              | (金子請取状)        | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                       | 1、金1兩、右の通り儲に受取る、とある。  | (旧目録P187)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |
| 1717<br>E74   | F<br>1 | 閏6月28日             | 仕切覚            | ○いせや:六右衛門<br>●岡野谷松兵衛                    | 惟茸ノ428匁6分、内、口銭・運賃・山駄賃・為替等あり、結局、差引きノ金2兩2分1朱と1匁7分1リ、これ仕切表として間違ひなく送った、とある。   | (旧目録P232)       | 原<br>本           | 状      | 1      | ○      | 94                                   |
| 1718<br>F1028 | F<br>1 | 7月2日               | 書状             | ○富永宇八<br>●岡野谷松兵衛                        | 堀之内村御切手、松峠より出しのものが25俵ほどあり、入用ならば買っていたきたい。麦は当年の極上のものです……と文章は続く。   | (旧目録P180)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------|----------------------------------|--|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1719<br>F1029 | F<br>1 | 7月2日               | 仕切状             | ○小田原屋長兵衛(江戸神田連雀町)<br>●岡野屋松兵衛     | 表題の仕切状は①、他に書状②がある。①春子稚茸3本他数本、合計4両2分3朱、3分6厘、これを仕切るので、金子送金を願う。②仕切金4両2分3朱を送ったので受取り願う。春子も夏子もでき次第送ってもらいたい、とある。                                | (旧目録P103)       | 原<br>本        | 状      | 2      |        |                  |
| 1720<br>L114  | F<br>1 | 7月2日               | (出荷受取りの覚)       | ○長崎(屋)<br>●記載なし                  | 遠州米、駿州米、地廻米、この外稚茸(極上・中)の受取り状。  | (旧目録P267)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1721<br>F754  | F<br>1 | 7月4日               | 書状<br>(米受取りの明細) | ○かきや伝五郎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛          | 別紙に、新米、糶米等に綱番に番号をつけ列挙し、本書状に次のように懇願している。最早54番にも間近かなのだが、急に入用になったので何とか都合をつけて6〜7両でも借用したい、又あら麦、4斗5升入りの上物なのでこれ又承引して頂きたい、とある。                   | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 2      |        |                  |
| 1722<br>F1030 | F<br>1 | 7月8日               | 覚<br>(金子請取)     | ○奥州や仁左衛門<br>●岡谷松兵衛               | 金4両也(品名不記載)の受取り。   | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1723<br>F659  | F<br>1 | 7月9日               | 覚               | ○奥州屋仁左衛門(藤枝上伝馬)<br>●上河内:松兵衛      | 金3両、但し1兩札3枚、これ儘に受取る、とある。   | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1724<br>F660  | F<br>1 | 7月9日               | (金子請取状)         | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両の受取り證文。   | (旧目録P187)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1725<br>F1031 | F<br>1 | 7月9日               | 覚               | ○さわ松(志田 西沢屋)<br>●松兵衛             | 上左東・上之ゆひ・みつ引・ろうそく・柏台足太(戊緒代)・油……で、合計:金1朱、1貫748文、金にして1分1朱・400文、とある。  | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1726<br>F663  | F<br>1 | 7月11日              | 覚               | ○しまだ:久蔵<br>●身成村(ママ):松兵衛          | 先日、麦直段取定めた。これ1斗4升迄お引取り願いたい、とある。  | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1727<br>F1034 | F<br>1 | 7月12日              | 口上              | ○大モリ 祐右衛門<br>●岡野谷松兵衛             | 利金1両、これ相違なく受取る、とある。  | (旧目録P134)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1728<br>L557  | F<br>1 | 7月12日              | 書状<br>(荷改め)     | ○宇八<br>●岡野谷松兵衛                   | お手紙拝見、返事が遅くなったことを詫びながら、次のように述べている。「山代金の支払いが遅延したこと申し訳ない。今便も差引き残金を差上げるのでお受取ください。炭山も買ひ、余分になり御世話かけるがお手山と思つてご承知願う。厄介をかけますが宜しく願う、と言つた文意が記載される。 | (旧目録P291)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1729<br>F664  | F<br>1 | 7月13日              | 覚               | ○本町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両、これ儘に受取る、とある。   | (旧目録P187)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1730<br>F823  | F<br>1 | 7月13日              | 覚<br>(品物代金請取)   | ○藤枝上伝馬 清月堂<br>●かうち村:松兵衛          | 金346文 大上松箱1ツ、金248文、平松箱1つ、これ儘に受取る、とある。  | (旧目録P164)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題           | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ)      | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |
|---------------|--------|--------------------|---------------|----------------------------------|---|----------------------|--------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|
| 1731<br>F1032 | F<br>1 | 7月13日              | 覚             | ○奥州屋仁左衛門<br>●岡野谷松兵衛              | 金11両1分・280文を請求したが、米・釘代金の勘定を間違えていて、申訳ない。結局金11両1分を受取る、とある。                        | (旧目録P164)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1732<br>F1033 | F<br>1 | 7月16日              | 覚             | ○奥州屋;仁左衛門<br>●河内 岡野谷松兵衛          | 金13両、これ儲に受取る、とある。   | (旧目録P165)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1733<br>F77   | F<br>1 | 7月17日              | 書状(前欠文章)      | ○藤原平八<br>●岡野谷松兵衛                 | 昨年は食用金の返済に苦勞したが、今は他より拝借した金子も既に返済したし、当年は大いに都合もよろしく、当年の新茶はこちらに廻して欲しい、と茶荷物送りを依頼する。 | (旧目録P134)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1734<br>F666  | F<br>1 | 7月18日              | 覚             | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両、これ儲に受取る、とある。  | (旧目録P187)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1735<br>E90   | F<br>1 | 7月19日              | 書状<br>(色紙袋あり) | ○川村重兵衛<br>●岡野谷松兵衛                | 稚茸の積荷を受取る。内金3両を渡す。出来次第積み送り願いたい。当方も清を出して売捌くつもり、とある。                              | 色紙封筒入り。<br>(旧目録P103) | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1736<br>F668  | F<br>1 | 7月21日              | 覚             | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 金1両、これ儲に受取る、とある。受:平左衛門、これ儲に受取る、とある。   | (旧目録P187)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1737<br>F402  | F<br>1 | 閏7月25日             | 覚             | ○白須賀:吉野屋新八<br>●上(御4人様)           | 金2分・800文(1人に付き、2朱・200文)、これ請取る、とある。  | (旧目録P165)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1738<br>F825  | F<br>1 | 7月27日              | 覚<br>(金子請取證)  | ○懸川:伊勢屋松治郎<br>●上                 | たばこ入れをはじめ、6品目、ノ金1分3朱・30匁3分(銀)、180文(銭)、これ儲に受取る。                                  | (旧目録P165)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1739<br>F417  | F<br>1 | 7月28日              | (金子請取)        | ○□や弥三郎<br>●次八                    | ・金1分と400文、・金2朱 さしみ?、・金2朱 酒?、・ノ金2分と400文、とある。                                     | (旧目録P165)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1740<br>F1037 | F<br>1 | 7月28日              | 覚             | ○奥州屋:権左衛門<br>●かうち村:松兵衛           | 諸品代金請取、ノ4貫633文、とある。   | (旧目録P165)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1741<br>F800  | F<br>1 | 7月                 | 覚             | ○木町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 「6月15日 金2分、7月3日 金2分、使い;平左衛門、右のように儲に受取る」とある。                                     | (旧目録P187)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1742<br>F41   | F<br>1 | 閏7月5日              | 覚<br>(茶 江戸入津) | ○坂屋与兵衛(江戸24組)<br>●岡野谷松兵衛         | 上印茶1本、徳田屋市十の船にて閏7月3日に入津したので、このこと報せる、とある。  | (旧目録P252)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |
| 1743<br>F734  | F<br>1 | 盆前                 | 覚<br>(金子請取)   | ○山惣<br>●岡野谷                      | はす外 6件の代金、ノ2両2朱、この受取りの覚。  | (旧目録P173)            | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                                      |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西曆( )・干支 | 標 題                         | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)             | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-----------------------------|--|--|-----------------|--------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1743<br>F734  | F<br>1 | 盆前                 | 覚<br>(金子請取)                 | ○山惣<br>●岡野谷                                  | はず等他6件の代金、ノ2兩2朱、これを受取る、とある。  | (旧目録P173)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1744<br>F1039 | F<br>1 | 8月2日               | 覚<br>(搗麦送り状)                | ○(駿河国下築地金):池谷勘右衛門◎<br>●岡野谷松兵衛                | 搗麦老駄注文に続き、再度入用の申入れあり。残らず売り切れで断っている。残りは少々高いが、20俵ほどあるので、必要なら購入いただきたい。7月25日搗麦3俵(4斗2升入れ)、8月2日同3俵(4斗5升入れ)、且又、堀之内村の米50俵も所持、入用ならば申し付け下さい。   | (旧目録P180)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1745<br>F1040 | F<br>1 | 8月2日               | 請取之證                        | ○西野<br>●岡野谷松平                                | 金5兩、請取る。   | (旧目録P165)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1746<br>F15   | F<br>1 | 8月4日               | 小津六兵衛書状写<br>(江戸20軒仲間に関して訴え) | ○小津六兵衛<br>●村松治郎兵衛                            | 江戸における20軒茶問屋の販売活動について、多年にわたり解説し、生産地に報せた書状。1、公儀の真加金を1ヶ年に金100兩としては、このような大金は生まれない。これは、江戸問屋が仕切直段は下値に、売値は高くしてその差額を利用か。2、江戸問屋坂屋与平(奥兵衛)の不正。3、茶問屋(20軒)結成の発端について。4、この度、出訴したのは、地元百姓が難儀にならないようにするためである。 | (旧目録P223)       | 原<br>本       | 豎<br>帳 | 1      | ○      | 94               |
| 1747<br>F672  | F<br>1 | 8月6日               | 覚                           | ○(藤枝):米屋半左衛門◎<br>●岡の谷松兵衛                     | 金3兩、諸品代受取。   | (旧目録P165)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1748<br>F1041 | F<br>1 | 8月6日               | 書状<br>(春子發送依頼)              | ○小田原や兵衛<br>●岡野谷松兵衛、松五郎、御家内衆中                 | 春子の仕切書を差上げる。相場が下値になったが、仕切金を確かめてお受取願いたい。夏子についても、所持していたらお送り願いたい。お米も値下がりになっているが、宜しくお送り願いたい。御家内様方にも宜しくお伝え下さい。  | (旧目録P103)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1749<br>F673  | F<br>1 | 8月7日               | (請取證)                       | ○木町:多吉◎<br>●岡の谷松兵衛                           | ◎金2分、儲に請取る。  |                 | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1750<br>F1042 | F<br>1 | 8月12日              | なし<br>(荷物受取状)               | ○住吉屋利三郎、弥兵衛、吉蔵<br>●岡野谷松兵衛                    | 券の荷物(品物不明)、無事入津下の出、安心されたい。   | (旧目録P258)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1751<br>F878  | F<br>1 | 8月14日              | 書状<br>(椎茸發送の依頼、包紙あり)        | ○小田原屋長兵衛◎印(印文:江戸○小 神田連雀町)龜次郎<br>●駿州川内村:藤田作兵衛 | 秋子の荷物をお送り下さい。夏子の相場も下もの13匁、上もので14匁で取り引きさせてください。この頃は景気もよいが、今後はどうなるか、計り難い。秋子の出回り次第、様子を見て掛引きいたします。   | (旧目録P104)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1752<br>F879  | F<br>1 | 8月14日              | 書状<br>(秋子椎茸發送の依頼)           | ○奥屋長兵衛<br>●岡野松兵衛                             | 秋子椎茸に於いては、追々出廻り、何卒取替え、荷物は積送りを依頼され、情々立働きの。当時、夏子相場引立てについては、上が114匁、下は113匁で取引共にし、行々の事は分り兼ねる。秋子出廻り次第、追々様子を見てご案内申上げ、直段も然るべき時までには調へ上げておきます。   | (旧目録P104)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1753<br>F1044 | F<br>1 | 8月15日              | 覚<br>(請取書)                  | ○駿州伊久美二又:さげや<br>●上河内[上(岡野谷松兵衛)               | 生酒1斗5升8合、5貫20文(この金3分1朱ト246文)。  | (旧目録P165)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1754<br>L450  | F<br>1 | 8月1日               | 書状<br>(包紙入り)                | ○小田原や兆兵衛、宗兵衛<br>●岡野谷松兵衛                      | 春子お困荷物2櫃、先賢12日、市十船水揚する。前金之事、延引していたが、金4兩1分を添え送金する。春子は、当年田他所からも多く入り、遺州春子は、存外に入り込み、お盆前に不景気、盆後も一向にもどらず、下値。このこと、ご承引のほど。   | (旧目録P281)       | 原<br>本       | 状      | 1      | ○      | 94               |

| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題              | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)          | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|------------------|---|--|-----------------|------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1755<br>F675  | F<br>1 | 8月20日              | 書簡<br>(きぬ糸売りの件)  | ○「上<br>●植田貴下                              | 先に熊吉に渡された絹糸は、当方にて預り置くので、了承されたい。追記、お役人様は、今晚どこへ泊まれるか、報せてほしい。           | (旧目録P180)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1756<br>F1045 | F<br>1 | 8月20日              | 覚                | ○奥州屋仁右衛門<br>●河内:松兵衛                       | 金5両也。これを儘に受取る。   | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1757<br>F676  | F<br>1 | 8月25日              | 書状<br>(椎茸買付け)    | ○上河内村:松兵衛<br>●石上村:清左衛門                    | 椎茸相場が立直したので、出荷して欲しい。未々は下落見込みである。                                     | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1758<br>F677  | F<br>1 | 8月27日              | 覚<br>(品代金)       | ○石や久左衛門<br>●松兵衛                           | 麻入り上1反、金2両2朱400文は別直段。儘に請取る。  | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1759<br>F996  | F<br>1 | 8月27日              | 覚<br>(金銭請取)      | ○(藤枝):かきや<br>●上河内:松兵衛                     | 金2両の請取状。   | (旧目録P158)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1760<br>F802  | F<br>1 | 8月28日              | 覚<br>(畳表代金)      | ○前山:代五郎<br>●記載なし                          | 畳表代金2両、請取。   | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1761<br>F678  | F<br>1 | 8月29日              | 書状<br>(資金提供申立て)  | ○八木屋太左衛門<br>●おかのや松兵衛                      | この晦日、資金入用と聞いた。秋になれば、佐東村の新米を召し上がってもらいたいので、1朱用立てたい。                    | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1762<br>F826  | F<br>1 | 9月3日               | 覚<br>(金子請取)      | ○奥州屋仁左衛門<br>●岡の谷松兵衛                       | 金14両2分、請取。   | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1763<br>F1047 | F<br>1 | 9月12日              | 書簡<br>(荷物積入の件)   | ○住吉屋利兵衛◎<br>●岡野谷松兵衛                       | (前欠)。御廻い荷物、近々積み入れについて、よろしく願いたい。                                      | (旧目録P259)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1764<br>X91   | F<br>1 | 9月12日              | 書簡<br>(包紙入り)     | ○長井利兵衛外2、住吉屋利三郎外1<br>●岡野谷松兵衛              | 仕切書を送る。後の荷物を沢山集めて欲しい。外1通。  | (旧目録P259)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1765<br>L274  | F<br>1 | 9月16日              | 書簡<br>(椎茸・乾物買上げ) | ○伊場屋甚左衛門◎(茶店・乾物店)<br>●岡野谷松兵衛御衆宇中          | 秋子椎茸・乾物類品もなるたけ沢山積み入れ願いたい。金子については、荷物着き次第、早々参上の上、申上げたい。                | (旧目録P281)       | 原<br>本           | 状      | 1      | ○      | 94               |
| 1766<br>L573  | F<br>1 | 9月18日              | 覚<br>(茶筵廿五枚請取證文) | ○二又:西野山二◎(印文:駿州伊久美 西野)<br>●上河内:「上         | 伊久美村二又の西野から茶筵20枚を受取った時の證文。使者常八。                                      | (旧目録P293)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |
| 1767<br>F681  | F<br>1 | 9月22日              | 覚<br>(米直段)       | ○三儀右衛門、米屋卯兵衛◎(印文:藤枝原村<br>卯)<br>●小河村:石神金兵衛 | 一、新米 半俵代金1両3分と500文。一、古米 半俵代金2両と832文。代金3両3分2朱と80文。都合4両也。総々164文の米直段の覚。 | (旧目録P166)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題               | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)    | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|-------------------|----------------------------------|--|--------------------|--------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1768<br>F682  | F<br>1 | 9月22日              | 覚<br>(領収書)        | ○駿河屋佐七<br>●西野平蔵                  | せんわん 本20人前、この金200也(意味不明)   | (旧目録P166)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1769<br>F882  | F<br>1 | 9月23日              | 書簡                | ○小川村 石神、金策<br>●上河内村:岡野谷松兵衛       | 上小米 半俵、新米 半俵、500文、これ取替えたので承知されたい。又、<br>今後駄賃も支払い願いたい、とある。   | 虫食いあり<br>(旧目録P180) | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1770<br>F683  | F<br>1 | 9月28日              | (金子請取)            | ○本町:多吉<br>●岡野谷松兵衛                | 1、金1両、これ確かに受取る。  | (旧目録188)           | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1771<br>F1048 | F<br>1 | 9月28日              | 覚<br>(請取書)        | ○柏屋孫左衛門(藤枝本町4丁目)<br>●大橋          | 扇20本、金2朱・55文、とある。  | (旧目録P166)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1772<br>F685  | F<br>1 | 9月29日              | 書状<br>(茶?荷物津出しの事) | ○坂谷兵衛<br>●岡野谷松兵衛                 | 此の度荷物(茶?)請取り、その送り状の通り入津の荷物を間違ひなく送<br>き合わせ手入る事を伝え、又また荷物追々送ってくれるようお願いを付<br>け加える。   | (旧目録P166)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1773<br>X165  | F<br>1 | 9月29日              | 書状                | ○上川内村:松兵衛<br>●八山村 長兵衛            | 当春仕入れた「こも」代残金のこと、5月1日仕廻荷物を堀之内平七の仲<br>立ちで渡す時に請求され、その残金348文をこの者に渡したが、これを<br>受取っていない、ということ、この者から受取って欲しい、当方からも催促<br>しておく、と伝える。 | (旧目録P307)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1774<br>F687  | F<br>1 | 10月11日             | 覚                 | ○越前屋 治平<br>●岡野谷松兵衛               | 椎茸1斗、この請取の覚。   | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1775<br>F1049 | F<br>1 | 10月11日             | 覚<br>(請取書)        | ○駿州藤枝吹屋町 八百屋 弥門<br>●長楽寺丁 鑑昇      | くわい、かんびょう外6品、ノ1貫585文、この請取書。  | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1776<br>F688  | F<br>1 | 10月13日             | 覚<br>(椎茸請取)       | ○越治(越前屋)<br>●上河内村:上棟(岡野谷)        | 2番椎茸1本を受取る、但し安西吉藏扱い、とある。   | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1777<br>F689  | F<br>1 | 10月17日             | 覚<br>(金子差上げの事)    | ○平右柳蔵<br>●上河内村:岡野谷松兵衛            | 金1両2分、先達で上納の節お預かりした金子、これを差上げる。私もそ<br>の内そちらに行きますのでご承知ください、とある。  | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1778<br>F690  | F<br>1 | 10月19日             | 覚<br>(金子受取り)      | ○ニ (山形の屋号)<br>●上棟                | 金子5両、これ確かに受取る。米は入用の時何時でも発送する、との条<br>件がついている。   | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1779<br>F803  | F<br>1 | 10月22日             | 覚                 | ○大和屋 栄吉(藤枝木町)<br>●峠 平左衛門         | 銭13貫264文、この金2両也、これ確かに受取る、とある。  | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1780<br>F691  | F<br>1 | 10月23日             | 覚<br>(品代書上げ)      | ○平右衛門<br>●岡野谷様                   | 板こんぶ、干瓜など諸品代金、ノ5貫718文、とある。   | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1781<br>F884  | F<br>1 | 10月23日             | 書簡<br>(古米買取の願い)   | ○下田惣吉<br>●上河内村:岡野谷松兵衛            | 古米、これを今月中に沢山出したいので、買取って欲しい、との申し入<br>れ。   | (旧目録P167)          | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |



| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題               | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピー<br>保<br>管 |
|---------------|--------|--------------------|-------------------|----------------------------------|--|-----------------|------------------|--------|--------|--------|----------------------------------|
| 1782<br>F804  | F<br>1 | 10月25日             | 書状                | ○築地村:池谷勘右衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛      | 蕎麦、これを木川太右衛門殿まで出してもらいたい、又小豆があればこれ又お送り願いたい、と伝える。  | (旧目録P167)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1783<br>F827  | F<br>1 | 10月25日             | 請取<br>(麦請取)       | ○身成:桑吉<br>●上河内:岡野谷松兵衛            | 麦1俵、これを受取る。使い:平右衛門、とある。  | (旧目録P181)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1784<br>F1050 | F<br>1 | 10月晦日              | 口上<br>(反物代金の請取)   | ○池田屋:重兵衛<br>●上                   | 浅黄・藤無地、他代金1両2分3朱616文、これを受取る。   | (旧目録P167)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1785<br>F1052 | F<br>1 | 11月 1日             | 覚<br>(請取書)        | ○要介<br>●松兵衛                      | 物品の請取書。1両1分1朱・190文の済み、の記載あるも、品名は読み取れない。  | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1786<br>L578  | F<br>1 | 11月 1日             | (品物渡し)            | ○村内:清五郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛           | 使い平左衛門を介して「1番1杖40入り」のもの(品名不明)を岡野谷家に渡す。   | (旧目録P293)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1787<br>F881  | F<br>1 | 11月 7日             | 書簡<br>(商取引)       | ○西野平藏<br>●上川内:岡野谷松兵衛             | 商品積み残しの分、10月20日江戸へ入津したと報告うける、上河内組の2~3軒の分の上納は16~17日頃まで着す願いたい、との頼みの手紙。   | (旧目録P180)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1788<br>F694  | F<br>1 | 11月10日             | (請取書)             | ○三井:谷右衛門<br>●上河内村:御嶽元様           | 金子(2口)、合3分、これ確かに受取る、とある。   | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1789<br>F695  | F<br>1 | 11月10日             | 覚<br>(諸品代金請取)     | ○山惣<br>●松兵衛                      | 衣類その他の生活用品26品目の代金:ノ金2分3朱、銀62匁9分、銭4貫980文、この金2両2分2朱、316文、内、3両請取、つり1両・514文返す。   | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1790<br>F696  | F<br>1 | 11月11日             | 覚                 | ○吉永屋(藤枝木町)<br>●上河内:岡野屋           | 大麦2口、2俵の納品書か。  | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1791<br>F1054 | F<br>1 | 11月11日             | 書状                | ○瀬戸谷村:下田惣吉<br>●上河内村:岡野谷松兵衛       | 惣大夫殿の山代金、これ残らず私共が受取る。又今日は金子4両受取る、と伝える。   | (旧目録P118)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1792<br>F1055 | F<br>1 | 11月11日             | 覚<br>(金子受取に付)     | ○山惣<br>●松兵衛                      | 注文品全8品の代金合計2分3朱と140文、確かに受取る。注文品は布製品が主。   | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1793<br>F1056 | F<br>1 | 11月13日             | 覚<br>(黒椀等の代金)     | ○田淵弥三郎<br>●岡野屋松兵衛                | 黒椀・本椀10人分、2分2朱、1朱、ノ此の取金3朱預り。   | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1794<br>F1057 | F<br>1 | 11月13日             | 覚<br>(椀等代金受取りに付)  | ○近江屋庄七<br>●岡野や松兵衛                | 黒字和椀20人分の代金1両1分1朱を受領。他の品物(不明)代金1分と3匁。  | (旧目録P168)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |
| 1795<br>X169  | F<br>1 | 11月13日             | 書状<br>(出府中、江戸の様子) | ○二又:西野庄吉(印文:駿州伊久美 西野)<br>●岡野谷御両君 | 私は、先日出府し、一昨日帰宅。江戸妻への書状、確にお届けした。大橋さまの事も申し上げたが、50両は難しく、25両届けたが、おって返事があるかと思う。中の仕切りの義は、先月、飛脚を参らせてので、安心下さい。また、茶相場も変わる事もなく、権茸も十二分より十三分まで引ました。書面の通り、申上げる。 | (旧目録P308)       | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )-干支 | 標 題            | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|----------------|----------------------------------|---|-----------------|--------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1796<br>F828  | F<br>1 | 11月14日             | 覚<br>(金子請取)    | ○下田惣吉印<br>●上河内:岡の谷松兵衛            | 一、金20両、住吉屋路三郎 一、金10両、いせや、一、金38両1分、の三口受取。            | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1797<br>F698  | F<br>1 | 11月14日             | 書簡<br>(商取引)    | ○米屋宇兵衛<br>●河内村:御苗松兵衛             | まずは麦・米注文のお礼と延引のお詫び、続いて蕎麦1俵送ること。米は荷が入り次第送るとのこと。      | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1798<br>F693  | F<br>1 | 11月15日             | 覚<br>(酒代請取)    | ○二又(伊久美):さげや治郎助<br>●上河内:岡野谷      | 酒(伊久美川)代金1両160文、内金請取の罷。                             | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1799<br>F699  | F<br>1 | 11月15日             | 覚<br>(品代金請取)   | ○丸角屋東七印(口印)<br>●上                | 品代酒造等2口、ノ22匁請取。                                     | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1800<br>F43   | F<br>1 | 11月17日             | 覚              | ○小みや小兵衛<br>●岡野谷松兵衛               | 一、8升5合入1ツ、一、4升七合入1ツ。外、中損文字欠。金子等の記載なし。               | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1801<br>F887  | F<br>1 | 11月19日             | 覚<br>(諸色代書上)   | ○平右衛門<br>●上                      | かまぼこ3枚、とうふ2丁、外諸色代ノ1貫378文書上。                         | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1802<br>F1059 | F<br>1 | 11月20日             | なし<br>(諸品金銭の覚) | ○(江戸大伝馬町):要介<br>●をかのや松兵衛         | 諸品金額3分2朱、1朱178文、書上げる。                               | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1803<br>F700  | F<br>1 | 11月23日             | 覚<br>(請取)      | ○(藤枝):米屋半左衛門印<br>●岡野谷泰兵衛         | 金3両、品代(品目不明)受取。                                     | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1804<br>F701  | F<br>1 | 11月24日             | 書簡<br>(送金の件)   | ○長井利兵衛<br>●岡ノ谷松兵衛                | 書類2通、飛脚を通して差上げる。なお、承る金10両、差上げるので、請取られたい。            | (旧目録P265)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1805<br>F1061 | F<br>1 | 11月28日             | 覚              | ○江戸上伝馬町:大丸屋<br>●岡野屋松兵衛           | 諸品代金、金1両2朱、1朱と383文受取る。                              | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1806<br>F702  | F<br>1 | 11月29日             | 覚<br>(請取證)     | ○河井柳八印<br>●岡谷松兵衛                 | 米6俵4斗入。この代金2両2朱ト230文。2両1分請取。1朱ト203文、返す。右の通り、残らず受取る。 | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1807<br>F830  | F<br>1 | 11月                | 覚<br>(諸品代請取)   | ○山惣<br>●岡の野                      | 半天、ちりめん、綿等諸色代ノ金1両ト202文、請取。                          | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1808<br>F834  | F<br>1 | 11月                | 覚<br>(品代受取)    | ○屋ま惣<br>●岡の野                     | 6匁6分、風呂敷代金請取。                                       | (旧目録P172)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1809<br>F1051 | F<br>1 | 11月                | なし             | ○要介<br>●松兵衛                      | 品物(不明)の代金、1両2朱の書付。                                  | (旧目録P168)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題              | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・写<br>区別 | 形態 | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|------------------|----------------------------------|---|-----------------|-----------|----|----|----|------------------|
| 1810<br>F704 | F<br>1 | 12月2日              | おぼへ<br>(衣服代書上)   | ○刷石町:柴田屋金五郎<br>●旦那               | 唐花上4反、小納戸風呂敷、晒、前掛等衣服代書上、為金15両175文。  | (旧目録P169)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1811<br>F888 | F<br>1 | 12月3日              | 覚<br>(請取證)       | ○駿州川根下泉村:酒屋四郎左衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛 | 諸白(酒)3升3合、代金658間。内金2朱請取。差引138文返す。   | (旧目録P169)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1812<br>F705 | F<br>1 | 12月5日              | 覚<br>(受取證)       | ○(藤枝)木町:常磐屋周平口印<br>●岡ノ谷松兵衛       | 金10両の受取證。   | (旧目録P169)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1813<br>F706 | F<br>1 | 12月7日              | なし<br>(佐束紙注文書)   | ○小川○イ口<br>●岡野や松兵衛                | 笹間村産のさづか紙1疋、無ければ半疋でも注文したい。  | (旧目録P169)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1814<br>F707 | F<br>1 | 12月11日             | 覚<br>(代金受取)      | ○大坂屋重左衛門印<br>●松兵衛                | 大直し1状、厚紙1状ト36枚、生漉1状等、この代金928文、受取。   | (旧目録P169)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1815<br>F890 | F<br>1 | 12月11日             | なし<br>(米代金請取のこと) | ○駿河国下築地:池谷勘右衛門<br>●(上河内村):岡野谷松兵衛 | 米代金50俵のところ、25俵分は請取。残り25俵は来春までにお支払い願<br>いたい。なお、来春入用の大妻、出来方は、悪いが上物を撰ぶので宜し<br>く。   | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1816<br>F422 | F<br>1 | 12月12日             | 覚<br>(請取書)       | ○山惣<br>●岡の野                      | 衣類11件の代金、しめて1両2分の受取書。   | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1817<br>F462 | F<br>1 | 12月12日             | 覚                | ○二又:西野治郎助<br>●上河内村:岡野谷松兵衛        | 金10両、使い浅右衛門。これ確かに受取る。   | (旧目録P142)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1818<br>F708 | F<br>1 | 12月12日             | 覚<br>(金子受取)      | ○山惣<br>●松兵衛                      | 一、4匁2分、2匁1分緋十一、一、4匁、2匁5分十半、以下、同様の列記<br>あり。 ヨテ一十一 ヨテ一十<br>内容不明。メてこの金1両3分ト424文、内金1両、受取る。  | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1819<br>F832 | F<br>1 | 12月12日             | 覚<br>(品代受取)      | ○山惣<br>●上                        | 元ゆい3包、80文。外品代456文、受取。   | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1820<br>F713 | F<br>1 | 12月15日             | 覚<br>(品代受取書)     | ○木町:米屋半藏<br>●小屋地:八百八             | こん足袋、染半、白布2反、メ2貫790文。内金2分受取。504文返し、相<br>済。  | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1821<br>F892 | F<br>1 | 12月15日             | 書状               | ○多吉<br>●下惣                       | 米の買集め報告。  | (旧目録P181)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1822<br>F893 | F<br>1 | 12月16日             | 書状<br>(米売買)      | ○(田<br>●「正                       | 米値段の聞き合わせばかりで、売り手もない。尤も私も蔵米10両は持っ<br>ている。値段は25匁7分、この値段でもよろしければ、この人に○印をし<br>て欲しい。今月中は正月11日より早々差出す。米には間違いない、私が<br>引受ける。安じる事はない。藤枝より申し参る。切米は受けあいはない。<br>い。 | (旧目録P181)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |
| 1823<br>F709 | F<br>1 | 12月19日             | 覚<br>(請取書)       | ○二又:酒や<br>●上河内:「上(岡野谷)           | 1貫456文、内金分取、差引152文、渡す。  | (旧目録P170)       | 原         | 状  | 1  |    |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題            | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)            | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|----------------|----------------------------------|--|----------------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1824<br>F833  | F<br>1 | 12月19日             | なし<br>(品代書上)   | ○京や清吉<br>●松兵衛                    | 一、700文、10文4足、小倉帯1筋等品代51両8分、4貫184文書上。   | 前欠、中損とも<br>顕著<br>(旧目録P170) | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1825<br>F1062 | F<br>1 | 12月19日             | 覚<br>(代金受取)    | ○大重<br>●上                        | なまり、おとし、飯金等、金1分3米ト535文、受取る。  | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1826<br>F710  | F<br>1 | 12月20日             | 書状             | ○二又:平の平四郎<br>●上河内:岡野谷松兵衛         | 金子20両添え、使いに持たせることのお知らせ。  | (旧目録P170)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1827<br>F711  | F<br>1 | 12月20日             | 覚<br>(品代請取書)   | ○駿州島田宿:大坂屋<br>●岡のや松兵衛            | 衣類6件、メて金2両、1貫100文。引テ正ミ金2両1朱、確かに請取、相済。  | (旧目録P170)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1828<br>F712  | F<br>1 | 12月21日             | 覚<br>(請取)      | ○米屋半左衛門<br>●岡野谷松兵衛               | 一、13両、小豆・あわせ代。一、1分2米ト2匁5分、侍女綿入。一、1分2朱、あわせ代外衣類。品目及び代金の表記、メの金額表記なし。内金1両3分、請取る。     | (旧目録P170)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1829<br>F895  | F<br>1 | 12月24日             | 覚              | ○藤枝:赤右衛門<br>●松兵衛                 | 米・麦・茶代金の内訳。  | (旧目録P170)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1830<br>F714  | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(衣類代金書上)  | ○米屋半左衛門<br>●岡野谷松兵衛               | 12月24日分。一、14匁2分、紺ちらし。一、16匁5分、立端上物綿入。外立端袴等、メての金額記載なし。以上、品代金覚。                     | (旧目録P170)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1831<br>F715  | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(受取)      | ○平右衛門<br>●岡の谷                    | 一、100文、かつを4本。一、1文ウヅワ(ソウダガツオ)大小20本、外いわし等魚類メて2貫280文。外に付木・みの紙、あか紙等、日用品代メて3貫300文、受取。 | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1832<br>F716  | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(品代受取書)   | ○平岡や東平<br>●記載なし                  | 品代7件分、メて1貫342文。内金1分、受取。差引333文返し、相済。  | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1833<br>F831  | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(品代金請取書)  | ○米屋半左衛門(印文:駿州藤枝)<br>●河内:松兵衛      | 衣料品各種9品目。メて83匁6分(この金1両ト408文)、銭1貫149文(この金2米ト701文)。合メて1両1分ト257文、受取る。               | (旧目録P169)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1834<br>F922  | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(穀物の差引勘定) | ○吉永屋善兵衛<br>●岡野屋松兵衛               | ○大麦3俵5斗5升、この金2分2米ト永56文8ト6匁。内金2分、受取。○米2俵、この金2分、88文2斗4匁。メ金2分2米ト永145文1ト、内大豆2俵受取等。   | (旧目録P145)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1835<br>F1064 | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(代金受取)    | ○松永や久兵衛<br>●上                    | 茶漬茶碗、岩芽茶袋(ダイカイカ)。347文、受取る。   | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1836<br>F1065 | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(代金受取)    | ○平岡や東平<br>●なし                    | 紀州和紙代金2米ト147文、受取。  | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1837<br>F1066 | F<br>1 | 12月25日             | 覚<br>(金銭請取)    | ○かきや伝五郎<br>●岡野谷松兵衛               | 金1分ト172文、請取相済み。  | (旧目録P171)                  | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題          | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|---------------|--------|--------------------|--------------|----------------------------------|--|-------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1838<br>F718  | F<br>1 | 12月26日             | 書簡<br>(穀物取引) | ○坂本藤四郎<br>●上河内村:岡野谷松兵衛           | 先日、大豆3俵無心し、送り下され忝い。そして、今日、又米3俵4斗、差上げる。この差引勘定は、来春にして欲しい。                        | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1839<br>F719  | F<br>1 | 12月26日             | 覚            | ○松泉屋平助印(印文:藤枝木町 松泉屋)<br>●岡野谷松兵衛  | かつを、かまぼこ等合せて4品、しめて1貫672文(内金1分)、請取。   | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1840<br>F720  | F<br>1 | 12月26日             | 覚            | ○鉄二郎<br>●「上(松兵衛)                 | 年仕用の品物購入の控か。かつを・いわし・切こんぶ等、11品目を購入し、合計金額2貫54文を支払う。                              | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1841<br>F1067 | F<br>1 | 12月26日             | 覚<br>(請求書)   | ○米屋半平<br>●上                      | 手拭・水引代金、ノで1貫660文。この代金、1分受取り。□22文、返す。   | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1842<br>F1068 | F<br>1 | 12月26日             | おぼへ<br>(品代)  | ○米屋半平<br>●上                      | 上紺足袋2口、830文の覚書。  | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1843<br>F1069 | F<br>1 | 12月26日             | 覚<br>(請取書)   | ○(宛屋)新九郎<br>●松兵衛                 | 一、2分3朱と84文、受取。   | (旧目録P171)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1844<br>F203  | F<br>1 | 12月29日             | 覚            | ○五郎エ門<br>●「上                     | 塩2俵、代金・駄賃等ノ金1分2朱ト484文取替(立替)。その他、荷筥・紙1ノを含め、金1兩差上げる。(包紙の宛名の横帳に、「金1兩添え」とある)。      | (旧目録P172)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1845<br>F722  | F<br>1 | 12月                | 覚<br>(品目請求)  | ○木町:平右衛門<br>●「上(松兵衛)             | 年始のための品物13品目の代金。2貫432文の覚書。いわし・切こんぶ・かいじゃくし等の品名が見える。大・中・小の(よこわ)の品目は魚類か。不詳。       | (旧目録P172)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1846<br>F723  | F<br>1 | 12日                | 覚            | ○木町:鉄次郎<br>●岡野谷松兵衛               | 大かつを・するめ・板こぶ等、合せて18品目。ノ1貫715文の請取。  | (旧目録P172)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1847<br>F1071 | F<br>1 | 12月                | 覚            | ○三度屋十兵衛<br>●上河内:松兵衛              | 8月5日、10月26日、11月28日、夫々早状1通。この賃600文、たしかに受取る。                                     | (旧目録P172)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1848<br>E75   | F<br>1 | 欠                  | 口上<br>(椎茸の事) | ○欠(文章後欠)<br>●欠(文章後欠)             | 椎茸4本差上げるので、この段悪しからず承引の程、江戸より椎茸仕切り一向に送ってこないで繰り合わせが困難、土用、秋子は金10兩取替えをお願いしたい、と伝える。 | 文章後欠<br>(旧目録P104) | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1849<br>C550  | F<br>1 | なし                 | 覚            | ○記載なし<br>●記載なし                   | 永・鍾・銭の換算か?   | (旧目録P72)          | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1850<br>C611  | F<br>1 | なし                 | 覚            | ○記載なし<br>●記載なし                   | 金銭貸借の覚。但し、「見せ消ち」になっている。  | (旧目録P73)          | 原本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1851<br>F45   | F<br>1 | なし                 | (品切れ印、書付の覚?) | ○記載なし<br>●記載なし                   | 1~19に分け、1、銀二印 住吉屋、2、孫二印 長崎屋、……11、阿印 大橋屋、12、因印 長崎屋……と列挙する。商品の印か?文章はない。          | (旧目録P181)         | 原本        | 状   | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号<br>西暦( )・干支 | 年 月 日 | 標 題                         | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)              | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)             | 原・写<br>区 別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱 番 号<br>コピ ー<br>保 管 |
|--------------|--------|----------------|-------|-----------------------------|---|--|-----------------------------|------------|-----|-----|-----|----------------------|
| 1852<br>F46  | F<br>1 | なし             |       | 藤枝宿 辻 仁左衛門殿<br>書付入(袋)       | ○奥州屋仁助より2通、 ○木町(岩水屋甚兵衛<br>より1通<br>●上河内:岡野谷松兵衛 | 穀物(米・もち米・大豆)・お茶等の仕切りの覚2通と、木町甚兵衛<br>からの至急送り願いの督促の書状入り。  | 袋入り<br>(旧目録P172)            | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1853<br>F83  | F<br>1 | なし             |       | 人参龍眼肉円<br>御用御薬調合所           | ○大坂北久太良町法眼柴田徳翁謹製 駿州取次<br>所高田:大坂屋十左衛門<br>●なし   | 腎臓が悪いと万事神気が行き届かず、健忘・短慮・物事に苛立ち<br>等、色々な病を起こすので、龍目肉円の薬を用いて養生すれ<br>ば、五臓六腑堅固となり、諸病を起こすことがない、などの薬の功<br>能を説く。  | 木版印刷 虫<br>喰著しい<br>(旧目録P322) | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1854<br>F205 | F<br>1 | なし             |       | 書状<br>(文章後欠)                | ○欠<br>●欠                                      | 年々の荷物積み送りの事 感謝する。これから先も荷物の積み送<br>り、よろしく願う、仕切表差引き金13両2分、とある。  | (旧目録P172)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1855<br>F206 | F<br>1 | なし             |       | 寒中製                         | ○花芳園岡野製道<br>●なし                               | 御浄墨代銀1匁の宣伝文  | (旧目録P181)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1856<br>F431 | F<br>1 | なし             |       | 書上<br>(あぶら代金受取)             | ○記載なし<br>●記載なし                                | 一、324文、らくだ。一、224文、26本、志ら梅油2本。小計2朱ト<br>銀92匁5厘2分、銭2貫186文、内金1分74文、上河内にて為八<br>様へ渡す。家山にて取かえ分、惣合計2両ト29文。外に1貫72<br>文、為八様にかり、又、外に224文、白梅・花あぶら2本、外に1<br>貫72文、為八様にかり分、2口ノ2両2朱ト527文。      | (旧目録P172)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1857<br>F436 | F<br>1 | なし             |       | 覚(金1分、4人分等)                 | ○記載なし<br>●記載なし                                | 4人分(岡埜野谷、平八、重左衛門、清八)の諸支出を列記。茶代<br>金・旅籠・ろうそく・船賃・天竜川等の支出であり、旅費・雑費の覚<br>書か。   | (旧目録P173)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1858<br>F441 | F<br>1 | なし             |       | 覚                           | ○記載なし<br>●記載なし                                | ①覚、戌正月20日、400文、仙蔵かし。正月24日、くまのいが<br>ん、金すり、代80文。春吉殿云々。②覚、茂八殿、金1分のりお<br>り、金2分とむらい入用。金2朱この節のりおり、ノ金3分2朱、<br>云々。   | 綴紐とれ<br>(旧目録P173)           | 原 本        | 状   | 2   |     |                      |
| 1859<br>F727 | F<br>1 | なし             |       | 覚<br>(米代金の受取)               | ○兵太夫村内:東平<br>●上河内:松兵衛                         | 米2俵(4斗入)、内748文取替。この代金、元利共に1両3分2朱と<br>148文、受取る。   | (旧目録P173)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1860<br>F728 | F<br>1 | なし             |       | おぼえ<br>(20、26、29日の支出<br>書付) | ○記載なし<br>●記載なし                                | 元ゆい84文、油218文、1両1朱ト200文がろうそく1箱代金。本<br>164文、かみすり2丁が248文、はめ板代484文、ぞうり3足112<br>文、びんろう180文、とはき372文、釘20本100文、きづか3状6<br>84文、5寸釘10本615文、合計1両1朱ト3貫985文。年代不詳<br>であるが、当時の家庭内の使用品目と代金がわかる。 | (旧目録P173)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1861<br>F729 | F<br>1 | なし             |       | 覚<br>(支出書付)                 | ○記載なし<br>●「上                                  | 28品目とそれぞれの代金の書付。とはき・かんなくし箱・こんぶ・<br>醤油・あげ・す・よりこ・酒・しょうが・みそこし・すし・水引・藤くら・<br>扇・とのこ・たん物・たばこ等の品名あり。内金分として、4両2分、<br>支払金3両2朱ト400文、差引1両1分ト460文、借りとある。                                   | (旧目録P173)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1862<br>F737 | F<br>1 | なし             |       | 覚<br>(代金書取)                 | ○記載なし<br>●記載なし                                | あぶらげ150文、外4件の覚。  | (旧目録P174)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |
| 1863<br>F732 | F<br>1 | なし             |       | 覚<br>(代金請取)                 | ○丸一<br>●「上                                    | ねり業代金外2件、ノ2朱472文。  | (旧目録P173)                   | 原 本        | 状   | 1   |     |                      |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-----------------|----------------------------------|--|-----------------|---------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1864<br>F740 | F<br>1 | 記載なし               | (白竹かわ代金請取)      | ○記載なし<br>●記載なし                   | 「白竹皮1個貸150文取かえ、代860文、内150文引、760文遣。外に351文借り、 <sup>て</sup> 1貫115文遣せ」とある。竹皮も収入の一部。  | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1865<br>F744 | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(買物代金書上)   | ○記載なし<br>●記載なし                   | 9月1日から12月2日までの買物代金の覚。新米1俵・椀代・かみ2状・靴買代等の金貸 <sup>て</sup> 1両3分2朱、銭650文。米代 <sup>て</sup> 1両、計3両2朱ト650文。外に古米や雑代等の記入あり。12月2日、金3両2分3朱預り置く、とある。 | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1866<br>F748 | F<br>1 | 記載なし               | 記載なし<br>(受取)    | ○イナバ市五郎<br>●上河内村:松兵衛             | 金2分1貫文、灯の芯代。外に内金2分受取。不足、1分ト1貫200文の覚書。  | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1867<br>F750 | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(品代金書上)    | ○記載なし<br>●記載なし                   | 扇子12、1匁5分6厘。風呂敷78、43匁6歩8厘。外に木引・蓑・かんざし・くし等の品代、惣じて金2両2分2朱ト125文の覚書。   | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1868<br>F753 | F<br>1 | 記載なし               | 覚               | ○(藤枝川原町):ひ物屋繁藤<br>●八百八           | 柄杓下2本、水柄杓1組、2分18文。この代物相済とある。   | (旧目録P174)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1869<br>F755 | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(品物代金書上)   | ○欠<br>●欠                         | 家喜もの(50人前、30人前、50人前、52人前)、大ぶり1本・あら2本・いか1籠・巻かまぼこ27・色々肴1籠・牛蒡30本・にんじん50本等、29品目と代金共に列挙、その計16貫343文とある。                                      | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1870<br>F756 | F<br>1 | 記載なし               | 覚               | ○寿屋<br>●御客様                      | 26日、酒肴代まとめて440文、この代金受取り。   | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1871<br>F758 | F<br>1 | 記載なし               | 残品<br>(品物代金の覚カ) | ○記載なし<br>●記載なし                   | 残品として扇子3箱・風呂敷2ツ・蓑入5ツ・櫛10枚・かんざし1本・帯1筋・鼻紙入2ツ・清書筆4本等、17項目を列挙する。   | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1872<br>F759 | F<br>1 | 記載なし               | (金子請取状)         | ○本町:多吉<br>●上河内:岡野谷松兵衛            | 4月27日、金1両受、平左衛門。5月11日、金1両受、八藏。儲に受取る。   |                 | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1873<br>F760 | F<br>1 | 記載なし               | 口上              | ○坂本藤田良、使清五郎<br>●岡野谷松兵衛           | 3月27日、2分、儲に受取る。  | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1874<br>F762 | F<br>1 | 記載なし               | 覚               | ○記載なし<br>●記載なし                   | 124文手紙、64文吉津や、105文同祝儀等とあり、全部で28項目、消費品目と代金を列挙。最後に、その代金合計3貫164文とある。  | (旧目録P182)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1875<br>F763 | F<br>1 | 記載なし               | 覚               | ○記載なし<br>●記載なし                   | 一、金2朱ト572文、のしま女半天。一、金二朱ト772文、のしま女帯とのみ記載。   | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1876<br>F764 | F<br>1 | 記載なし               | (支払代金書上断簡)      | ○記載なし<br>●記載なし                   | 前欠。100文、36文等と入用費を書き、最後に824文重左衛門取替え、600文平八取替え、1貫200文酒・さかなとある。   | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |
| 1877<br>F765 | F<br>1 | 記載なし               | (買物の覚)          | ○記載なし<br>●記載なし                   | 48文つけき、56文改、60文しゃもじ等と書きつける。  | (旧目録P175)       | 原<br>本        | 状      | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号       | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題            | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原<br>写区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------------|--------|--------------------|----------------|----------------------------------|---|-----------------|--------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1878<br>F766       | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(請取)      | ○記載なし<br>●記載なし                   | 2朱16文惣右衛門、200文五郎兵衛等と受取代金と請求すべき人物を記載。文末にノ3分4貫235文、この金1両1分1貫35文とある。                         | (旧目録P175)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1879<br>F767       | F<br>1 | 記載なし               | 覚              | ○記載なし<br>●記載なし                   | 白布2反・こんたび第足・わん大小3組・板こんぶ50枚・切こんぶ1たま等、21品目を書きつける。買切の覚力。                                     | (旧目録P182)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1880<br>F768       | F<br>1 | 記載なし               | 覚              | ○(藤枝):佐野屋忠助<br>●平左衛門             | 680文、極上2升、受取る。  | (旧目録P175)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1881<br>F774       | F<br>1 | 記載なし               | 薬効用書           | ○勢州朝熊岳 野間因幡掾<br>●記載なし            | 欠   | (旧目録P321)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1882<br>F775       | F<br>1 | 記載なし               | 覚              | ○記載なし<br>記載なし                    | 志ぼり、かす等布地の代金の覚。   | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1883<br>F776       | F<br>1 | 記載なし               | 覚              | ○記載なし<br>●記載なし                   | まり70文、田つくり74文、みかん74文、をやき130文の代金覚。   | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1884<br>F835       | F<br>1 | 記載なし               | 覚(品代書上)        | ○記載なし<br>●記載なし                   | 品名不詳。2品目ノ520文。  | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1885<br>F889<br>-2 | F<br>1 | 記載なし               | 覚              | ○なし<br>●なし                       | 代2貫染、代300染、外染物の覚書。  | (旧目録P169)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1886<br>F899       | F<br>1 | 記載なし               | 書状<br>(酒売物なし)  | ○たい平<br>●下田惣吉                    | 助宗・堀之内にはなし。酒値段25匁8分、内藤は27匁で買人ばかりで売人なし。  | (旧目録P182)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1887<br>F1080      | F<br>1 | 記載なし               | (前欠)           | ○記載なし<br>●記載なし                   | 前欠、420文、こもかけ荷かこちん、56本小川出。このちん5貫600文。諸々あり、総計40貫872文、内6両請取、この銭40貫800文。差引73文不足。品名等不明。        | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1888<br>F1081      | F<br>1 | 記載なし               | 記載なし<br>(金銭書上) | ○記載なし<br>●記載なし                   | 品物等不明瞭。一、金1分2朱12文、3人分。一、金2分3朱1貫600文、「上平、出(支払力)。「上5両3分、重。3両2朱、(人名なし)。2両300文、2貫。合計10両3分2朱等。 | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1889F<br>1082      | F<br>1 | 記載なし               | おぼへ<br>(たんす代金) | ○さし方<br>●松兵へ                     | 一、金1両3分1朱、たんす代金として儲に請取。   | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1890<br>F1083      | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(品物代金請取)  | ○やま惣<br>●岡のや                     | (品名不明)。代金1分1朱50文、儲に相済み。   | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |
| 1891<br>F1084      | F<br>1 | 記載なし               | 覚(品物代金請取)      | ○〇方店<br>●岡松                      | 一、金2両3分朱562文の処、3両請取。おつり292文返金。内92文、使の駄賃渡す。200文、使へ差遣す。以上、記帳をして置いて欲しい。                      | (旧目録P176)       | 原<br>本       | 状      | 1      |        |                  |



| 通し番号<br>整理番号  | 分類     | 年号<br>西暦( )・干支 | 年月日 | 標 題          | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要                      | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原<br>写<br>区<br>別 | 形<br>態 | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱<br>番<br>号<br>コ<br>ピ<br>ー<br>保<br>管 |  |
|---------------|--------|----------------|-----|--------------|----------------------------------|--------------------------|---|------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|--|
| 1892<br>F1085 | F<br>1 |                |     | 記載なし<br>(送状) | ○塩屋長兵衛<br>●上川村:五左衛門行             | 號久24枚、むしろ5枚添え、代金850文の伝票。 | (旧目録P182)   | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |  |
| 1893<br>F1087 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○村寺より◎<br>●岡野谷松兵衛                | 金1朱ト銭107文。当未の勘定分、儘に受取る。  | (旧目録P177)   | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |  |
| 1894<br>F1088 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○白井吉平<br>●上河内:松兵衛                | 金2分、儘に請取る。               | (旧目録P177)   | 原<br>本           | 状      | 1      |        |                                      |  |
| 1895<br>F1089 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | (荷物搬送依頼)                 | 先達、買取った遠州茶原、心得違いはないと思うが、只今まで原迄届いていないので、荷作り片付けたく思うので、早々原まで届けて欲しい。  | (旧目録P182)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1896<br>F1094 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 覚<br>(いわし他、代金書上)         | いわし・わらじ・小使代等の諸経費合計2分と1貫454文支払っている。1両を受取って、3朱と永218文を返金して入る。  | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1897<br>F1096 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 書状<br>(本等の合い金メモ書)        | 本、紙、荷賃等のメモ書10件。   | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1898<br>F1098 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 覚<br>(米・酒等代金書上)          | 6月5日、米5斗3升、この代金1両1朱と350文(1俵代1両に付、100文抜き)酒1升の代金300文等々。醤油1升代金170文、そうめん1箱2朱と148文等が記され、合計4両2分1朱と531文とある。年代不詳。 | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1899<br>F1099 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 覚<br>(わらじ等代金)            | わらじ、髪洗い、きせるらを、たばこ、酒、等の代金の覚。金6両2分、銭200文 物出し。   | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1900<br>F1100 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 書状<br>(たばこ等代金の覚)         | たばこ・馬賃、酒代等の代金メモ書き、22件あり。  | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1901<br>F1101 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 覚                        | 火打石、青べら、こうじ、かずのこ、ろうそく等。   | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1902<br>F1102 | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | 覚<br>(酒代等受取り)            | 酒代外5件、金2貫304文、内金2分受取り。取金892文分。  | (旧目録P177)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1903<br>L150  | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○記載なし<br>●記載なし                   | (孫印・助印・右五印 代金覚)          | お茶:孫印・3本半 代金1両2分3朱、助印・2本半 代金3両3分1朱、右5印・3本半、代金1両3分2朱。  | (旧目録P292)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1904<br>L151  | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○桑之山:三郎左衛門<br>●上河内:岡野谷松兵衛        | 書状<br>(上納金のこと)           | 本日仲の松五郎が上納に伺う。過日話題の金子、弥左衛門分も皆済され、都合金2分、例年の通り皆済する。なお要蔵分(1分)と市平分1分の都合2分を借用したくお願いする、と伝える。                    | (旧目録P292)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |
| 1905<br>L152  | F<br>1 |                |     | 記載なし         | ○桑之山:三郎左衛門<br>●上河内:岡野谷松兵衛        | 書状                       | 申し兼ねるが白米1俵を無心願ひ、代金1両を差上げる。なお茶は例連通り差上げるが、当年は4月以来家内以下多くの者が風邪を煩っているため、近日中に持参することになる、と伝える。                    | (旧目録P292)        | 原<br>本 | 状      | 1      |                                      |  |

分類:F-1 商業一般

No.145

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支 | 標 題             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ)         | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|--------------------|-----------------|----------------------------------|---|-------------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1906<br>L157 | F<br>1 | 記載なし               | 書状<br>(山の咄)     | ○記載なし<br>●記載なし                   | 栗野山の太郎右衛門分、この伴次方へ売り置くという山の話しに付き、どのようにするか承りたい、と伝えたもの。  | (旧目録P95)                | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1907<br>L317 | F<br>1 | 記載なし               | 記載なし<br>(雇い人出勤) | ○記載なし<br>●記載なし                   | 雇い人の出勤の控、土左衛門・茂吉・さよ・かの・文蔵・平左衛門・かん、以87名の者の出勤簿、4月12日～4月26日迄の記録。   | 丁数4枚、製破損あり<br>(旧目録P284) | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1908<br>X104 | F<br>1 | 記載なし               | おぼへ<br>(覚)      | ○記載なし<br>●記載なし                   | 酒代等の書付。   | (旧目録P312)               | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1909<br>X114 | F<br>1 | 記載なし               | 記載なし<br>(茶預りの覚) | ○記載なし<br>●記載なし                   | お茶21件の生産地とその生産者の名前。各々の数量記載はないが、文末に「中茶3本」、「仕込み8本1貫150文宛て」とある。  | (旧目録P312)               | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1910<br>Z13  | F<br>1 | 記載なし               | おぼへ<br>(金子割当の覚) | ○記載なし<br>●記載なし                   | 3ロメ:金3両3朱・1貫324文、この金3両3分1朱・576文、この割3人、一人に付き1両1分・417文、とある。   | (旧目録P323)               | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1911<br>L574 | F<br>1 | 記載なし               | 覚<br>(板敷渡に付いて)  | ○欠<br>●欠                         | 白山神社と大井神社に使用される板敷関係の覚え。17把のうち5把は白山へ、12把は大井へ、はめ板15把は白山へ、2寸5分の大きさ74本の内、白山へ24本、大井へ50本、4寸は30本が白山へ、50本が大井へ。使い:只七へ代金2分渡し、とある。 | (旧目録P293)               | 原 本       | 状   | 1   |     |                  |
| 1912<br>Z18  | F<br>1 | 記載なし               | 請取覚             | ○記載なし<br>●記載なし                   | 表:150文を5人より、575文を4人、150文を4人、100文を1人。裏:150文を5人、575文を2人、150文を1人。一色村分、150文を1人、575文を6人、150文を2人。以上の金額と人名を列記している。集金内容は不詳。     | (旧目録P178)               | 原 本       | 横 帳 | 1   |     |                  |

分類:F-1 商業一般 (お茶の販売)

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支     | 標 題      | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前) | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)  | 原・写<br>区別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|------------------------|----------|----------------------------------|--|------------------|-----------|-----|-----|-----|------------------|
| 1913<br>L462 | F<br>1 | (文化8年)閏2月<br>(1811年)・未 | 江戸茶問屋連名覚 | ○茶問屋行吏<br>●記載なし                  | 江戸茶問屋20軒とは次の通りである。西新堀1丁目・住吉屋庄七、北新堀川:中屋善助、呉服町1丁目:大塚宗右衛門、本船町:白子屋仁兵衛、堀留町1丁目:渡屋源三郎、飯田町:龜屋久右衛門、元四日市:藤原藤助、日本橋屋2丁目:山本嘉兵衛、本町4丁目:西村喜三郎、大伝馬町2丁目:富田利兵衛、同1丁目:茗荷屋善五郎、同2丁目:板屋興兵衛、通旅籠町:小津次郎左衛門、同町:中野善助、本町4丁目:大橋太郎次郎、本石町4丁目:大和屋三郎右衛門、大伝馬町1丁目:中村三郎右衛門、本町4丁目:長井利兵衛、伊勢町:中桑瀬兵衛、堀江町1丁目:小津六兵衛。「右二拾野、此度茶問屋仲間相定め申候、此段御承知可被下候」、とある。 | 折り紙<br>(旧目録P295) | 原 本       | 状   | 1   | ○   | 94               |

分類:F-1 商業—一般 (お茶の販売)

No.146

| 通し番号<br>整理番号 | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支     | 標 題                       | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)    | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)           | 原・<br>写区<br>別 | 形<br>態      | 数<br>量 | 撮<br>影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|------------------------|---------------------------|-------------------------------------|--|---------------------------|---------------|-------------|--------|--------|------------------|
| 1914<br>L860 | F<br>1 | 文化9年6月18日<br>(1812年)・申 | 覚                         | ○小川村:基左衛門<br>●上川内村:松兵衛              | ・茶11本、この代金9両1分2朱、右の通り売渡代金すべて購取る、と記載されている。  | (旧目録P284)                 | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1915<br>L159 | F<br>1 | 文政2年6月<br>(1819年)・卯    | 金銀請取通                     | ○上河内村:岡野谷松兵衛(裏表紙)<br>●瀬戸口:下田惣吉(裏表紙) | 卯6月2日分:大橋太郎次郎殿より金30両入り、板屋与兵衛殿より金20両入り、住吉屋利三郎殿より金20両入り、茗荷屋善五郎殿より金10両届く、とあり。同日に合計80両を入金している。文政2年6月から12月までの入金合計215両、これを茶商人から入金している。この商人とは上記4名の外に、長井、中条、藤原、小津、長崎屋、富田である。   | 丁数10枚<br>(旧目録P284)        | 原<br>本        | 横<br>半<br>帳 | 1      | ○      | 94               |
| 1916<br>L18  | F<br>1 | 文政4年12月<br>(1821年)・巳   | 「上 茶仕切小判60(目)断            | ○長井利兵衛<br>●岡野谷松兵衛                   | 金1両3分、髪の破損著しく解説不明。   | シミと破損多い<br>(旧目録P239)      | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1917<br>L19  | F<br>1 | 文政5年5月吉日<br>(1822年)・壬午 | 「上 茶仕切小判60目割              | ○長井利兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛            | 光2、久1、各1本、金1両2分、とある。   | (旧目録P239)                 | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1918<br>L318 | F<br>1 | 文政6年6月<br>(1823年)・未    | 「上 茶仕切小判58文割              | ○板屋与兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛            | 荷口6本、文政5年12月14日預り分6本、金5両1分・400文1分3厘、差引き4両3分400文8分5厘。   | (旧目録P233)                 | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1919<br>L861 | F<br>1 | 文政6年6月<br>(1823年)・未    | 覚<br>(茶売渡代金の受取り)          | ○小川:基左衛門<br>●上川内村:松兵衛               | 1、茶13本、この代金8両2分、他に通目5貫目、この代金1分・383文、以上売渡代金すべて受取り相済み、とある。   | (旧目録P285)                 | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1920<br>L1   | F<br>1 | 文政6年10月<br>(1823年)・未   | 茶願一件諸入用日記                 | ○笹間村下組(表紙)<br>●記載なし                 | 笹間村下組に関する文政6年6月～同7年11月迄の茶願一件、諸入用日記。その入用先は上河内村、大平、日向、桑山等、多方面に及ぶ。敷銭分25貫156文、出銭分3両・4貫816文、差引き53文は松兵衛へ、とある。  | 丁数7枚<br>虫喰あり<br>(旧目録P224) | 原<br>本        | 状           | 1      |        |                  |
| 1921<br>L319 | F<br>1 | 文政6年10月<br>(1823年)・未   | 御用留<br>駿州志太郡地名村庄兵衛扣       | ○記載なし<br>●記載なし                      | 駿州遠州における茶の生産地106ヶ村を代表して訴える。各村は谷間の村で茶生産にて年貢諸役を勤めて来た。近年茶値段下落、これを掛け合うも、10年以來茶問屋が新規に20軒と勝手に決め、こちらの荷物を受取らない。生産者の茶のみ値段を下げて困窮に陥っている。茶問屋から冥加金を差上げているのなら、我々百姓に割当て欲しい。以前のように手広く売買出来る様をお願いしたい。駿州家数の内、遠州1518件、安部1144軒、糞科大井川通り1030軒とある。 | 丁数10枚<br>(旧目録P220)        | 原<br>本        | 豎<br>帳      | 1      | ○      | 94               |
| 1922<br>L160 | F<br>1 | 文政7年5月<br>(1824年)・申    | 茶一件諸雑用割合取集<br>覚帳 駿州方下六ヶ村  | ○記載なし<br>●記載なし                      | 「題文を以って一筆啓上致し候」(書き下す)、と笹間渡・楠網・身成・伊久美・笹間村両組に係わる題文を載せたもの(世話人:庄兵衛)。まず「覚」として、江戸出府中の雑費を記載し次にそれを上記村々に割当て、この出金が遅れると差支えが生じ、惣代の者が難儀する、と結んでいる。   | 丁数2枚<br>(旧目録P224)         | 原<br>本        | 横<br>帳      | 1      | ○      | 94               |
| 1923<br>L214 | F<br>1 | (文政7)年8月<br>(1824年)・甲申 | 積附 (申年 焼津渡からの<br>積荷出について) | ○焼津渡:松村総五郎 他<br>●岡野谷松兵衛 他2名         | 焼津渡より江戸茶問屋に積み送る茶荷物の出帆通知。4月～9月迄の申年分、甲申年より1824年と推定する。  | 状27枚綴る。<br>(旧目録P229)      | 原<br>本        | 綴<br>り      | 1      |        |                  |
| 1924<br>L2   | F<br>1 | 文政7年閏8月<br>(1824年)・申   | 茶一件諸雑用請取通                 | ○世話人 地名村:庄兵衛<br>●笹間村下組御名主中          | 茶一件諸雑用請取りの覚で、文政6年11月より同7年8月までの4件分の受取り。   | (旧目録P224)                 | 原<br>本        | 横<br>半<br>帳 | 1      |        |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分<br>類 | 年号 年月日<br>西暦( )・干支        | 標 題                        | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)                           | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)           | 原・写<br>区別 | 形 態         | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>一保 |
|--------------|--------|---------------------------|----------------------------|--|--|---------------------------|-----------|-------------|-----|-----|------------------|
| 1925<br>L53  | F<br>1 | (文政7)年10月15日<br>(1824年)・申 | (茶一条諸雑用の書状)                | ○石風呂村:作三右衛門、地名村:庄兵衛、<br>●笹間村・身成村・橋瀬村・伊久美村・笹間村上<br>下組、村々名主中 | 茶一条に付いて、嶋田宿兎屋市郎兵衛方へ参会するよう、瀧科日向五兵衛より指示あり、このこと次に連絡する。茶一条諸雑費用、当年分当正月より来る酉年3月までの分、畑高1石に付き銭10文当り15ヶ月分当金持参すること、参会日は21日、別に相談することもあり、是非参会されたい、とするもの。                             | (旧目録P225)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1926<br>L3   | F<br>1 | 文政7年10月<br>(1824年)・申      | 茶一件諸入用割合出金<br>覚帳<br>笹間村下組扣 | ○地名村:庄兵衛(表紙)<br>●記載なし                                      | 5月より12月まで8ヶ月分を割合出金として金1両2分2朱・573文、内:1分2朱 5月～6月の2ヶ月分、353文受取る、1両1分7月～12月までの分、残りなし、217文請取。  | 丁敷4枚<br>虫喰あり<br>(旧目録P224) | 原 本       | 横<br>半<br>帳 | 1   | ○   | 94               |
| 1927<br>L320 | F<br>1 | 文政7年10月<br>(1824年)・申      | 茶一件出入雑用帳                   | ○荷主:松兵衛<br>●記載なし   | 申年～亥年、各村が各戸ごとに集金する、その内容は次の通りである。江戸出府時の入用費、宿賃、川賃、飛脚賃などで、総計7両1朱・銀2匁5分、銭20文、などである。  | (旧目録P320)                 | 原 本       | 横<br>帳      | 1   |     |                  |
| 1928<br>L21  | F<br>1 | 文政7年11月<br>(1824年)・申      | 取究申一札之事                    | ○伊久美・身成・笹間・下泉・堀の内・青部・岸・水<br>川・藤川の各代表(1村に1名～3名)<br>●記載なし    | この度の茶一条吟味に付、江戸の間屋と馴れ合い、後ろ暗いことがあるや否かを内吟味したが、一切ない、しかしもしそのような事があつたら出府入用はその者に当金してもらうことにする。このこと連印し、墨文とする。   | (旧目録P226)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1929<br>L22  | F<br>1 | 文政7年11月<br>(1824年)・申      | 一札之事                       | ○記載なし<br>●荷主14名人惣代衆中                                       | 113ヶ村惣代衆中の申し立てには、茶生産者によるお茶の直送は一切なしと申上げたそうであるが、私共はすでにお茶一条に付き御尊判を頂戴して、手茶ばかりを差し送っているし、それに仕切りはその年限りに江戸表より受取っている。このことで将来呼び出され吟味にもなれば難渋ものとなる。以後このこと14人惣代衆中でよろしくお取り計らいの程お願いしたい。 | (旧目録P220)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1930<br>L23  | F<br>1 | 文政7年11月<br>(1824年)・申      | 一札之事                       | ○下泉:十右衛門<br>●羽倉外記御代官所川根通荷主14人惣代衆<br>中                      | 此の度御尊判頂戴のことで74人の者へ、ご吟味に付き前々から話しがあつたが、私共にはどうしたわけか名前が除かれている。このことで、惣代衆になるべくよき様お取り計らいくだされ度お願いしたい。念のため。   | (旧目録P224)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1931<br>L55  | F<br>1 | (文政7年)11月16日<br>(1824年)・申 | (茶一件雑用金割賦に<br>ついて)         | ○地名村:庄兵衛、葛籠村:作之右衛門、日向;五<br>兵衛<br>●両川根通村々名主・与頭衆中            | 茶一件雑費に付き当月3日までに提出するよう触れ出したが未だ延引している。そのため差支え多く、付いては飛脚(2人)を差し遣わすので間違いないこの飛脚の者に渡すよう頼む。委細は飛脚にて。  | (旧目録P225)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1932<br>L56  | F<br>1 | 文政8年正月8日<br>(1825年)・酉     | 廻文<br>(茶一件入用に付いて)          | ○乗之山村兩名主<br>●日向村外6ヶ村名主                                     | 茶一件入用の件、昨年帳元より寄合之節お話しされた通りであるが、その後地名村庄兵衛より申年分入用金3両3分余の割付で触れ状が出た。軒別158文宛の割り金なので各村で寄合い出金されたし、とする廻状。  | (旧目録P225)                 | 原 本       | 状           | 1   | ○   | 94               |
| 1933<br>L321 | F<br>1 | 文政8年正月9日<br>(1825年)・酉年    | 茶仕切小判58匁割                  | ○板屋与兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛                                   | 茶仕入れ明細勘定書。ノ14両9匁4分5厘、差引き金8両1分、2匁9分9厘   | (旧目録P233)                 | 原 本       | 綴<br>り      | 1   |     |                  |
| 1934<br>L593 | F<br>1 | 文政8年9月<br>(1825年)・酉       | 茶仕切 小判58匁割                 | ○めうかや(茗荷屋)善五郎<br>●岡野谷松兵衛                                   | 茶銘柄、初花外20件、ノ茶23本、総合金23両・14匁3分4厘、石十印等を引きノ金23両1分3匁8分4厘、更に内金運賃らを差引きノ金11両1分、2匁6分4厘。  | (旧目録P245)                 | 原 本       | 状           | 1   |     |                  |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支      | 標 題                             | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)  | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)   | 原・写<br>区別 | 形態      | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|-------------------------|---------------------------------|---|--|-------------------|-----------|---------|----|----|------------------|
| 1935<br>L322 | F<br>1 | 文政8年10月22日<br>(1825年)・酉 | 茶仕切<br>(小判58両之割)                | ○小津次郎左衛門(茶問屋20軒の内)<br>●岡野谷松兵衛   | 荷数37本の明細を記載。代金30両2分・11匁2分6厘、とある  | 丁数4枚<br>(旧目録P236) | 原<br>本    | 横<br>帳  | 1  |    |                  |
| 1936<br>L324 | F<br>1 | 文政8年<br>(1825年)・酉       | 「上 茶仕切之事<br>小判58匁割              | ○長崎屋瀬兵衛<br>●岡野谷松兵衛  | 茶22本(銘柄)、ノ23両2分、(銀)9匁6分1厘、運賃等と貸し分(金10両・1匁1分)、ノ金12両・銀3分2厘、外差引ノ金11両3分・1匁1分7厘預り。  | (旧目録P240)         | 原<br>本    | 状       | 1  | ○  | 94               |
| 1937<br>L58  | F<br>1 | (文政9)2月24日<br>(1826)・戌  | (茶一件にて江戸表出<br>府諸入用につき)          | ○世話人庄兵衛 作之右衛門<br>●笹間渡村名主外7名   | 先日、茶一件惣代衆が江戸表へ出府した際の、諸入用の割合を当月28日までに金出されるようお願いする。延引となると差支えるので、割合の通り早々に金出願いたい。何分、よろしく願う。  | (旧目録P225)         | 原<br>本    | 状       | 1  | ○  | 94               |
| 1938<br>L4   | F<br>1 | 文政9年2月<br>(1826)・戌      | 茶一件訴訟方入用帳                       | ○下組<br>●記載なし  | 文政茶一件に関する下組の経費を記載。下組8ヶ村で90軒の割付は1両・664文。1軒平均が80文。1月から5月までの割付が村名と共に記載。下組は、上河内・大森・西向・大平・三並・高日向・日向・栗野山の8村からなる。                       | 丁数5枚<br>(旧目録P224) | 原<br>本    | 横<br>帳  | 1  |    |                  |
| 1939<br>L691 | F<br>1 | 文政9年2月<br>(1826)・戌      | 茶一件諸入用割合出金<br>請取通               | ○笹間村下組下組 世話人庄兵衛<br>●記載なし  | 6月より12月まで7月分割合として金1両2分122文。笹間下組茶一件諸雑用当代 正月より5月まで5月分割合として金1両664文とある。  | 丁数4枚<br>(旧目録P225) | 原<br>本    | 横<br>半帳 | 1  | ○  | 94               |
| 1940<br>L25  | F<br>1 | 文政9年12月17日<br>(1826)・戌  | 乍恐以書付奉願上候<br>(茶一件のため年貢取<br>立差支) | ○羽倉外記御代官所駿州志太郡笹間村・湯村願<br>人名主松兵衛外2名 同代官所遠州機原郡水川<br>村・名主藤五郎代百姓代平兵衛<br>●御奉行所 | 私共は、茶一件のため召し出され、吟味中であるので、年貢取立などに差支えており、殊に私共は責任ある身であるので、当惑している。どうか年貢納入などの諸用事が済むまで、帰村させていただきます。                                    | 虫損蓋大<br>(旧目録P220) | 原<br>本    | 状       | 1  | ○  | 94               |
| 1941<br>L323 | F<br>1 | 文政9年12月吉日<br>(1826)・戌   | 「上 茶仕切<br>小判60匁割                | ○長井利兵衛<br>●岡野谷松兵衛   | 文三1本6匁目、代2分1匁3分8厘外、計5本、代金2両3分6匁5分8厘。この内、くらしき・口銭分引と金10両2匁3分貸し、計10両1分7匁2分と7匁1厘。差引7両1分8匁5分1厘の貸し分の仕切書。                               | (旧目録P239)         | 原<br>本    | 状       | 1  |    |                  |
| 1942<br>L5   | F<br>1 | 文政10年1月<br>(1827)・丁亥    | 茶一件諸入用帳                         | ○下組扣<br>●記載なし   | 文政茶一件終了直前の諸経費を記載。村高6808石9斗、正月より7月までの諸経費は、金250両。但し、1石につき、1ヶ月銭25文掛かり、家数91軒で1軒分銭158文とある。村毎の割付金、下泉村分2両が記載されている。                      | (旧目録P225)         | 原<br>本    | 横<br>帳  | 1  |    |                  |
| 1943<br>L325 | F<br>1 | 文政10年4月<br>(1827)・亥     | 茶仕切小判58匁                        | ○茗荷屋善後郎(武拾軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛   | 「上 小口松1本、代金1両4文6分7厘。他6口あり、ノ4本、代金合4両2文2匁9厘。内運賃口銭など差引、合1両6匁6厘預り。   | 虫損蓋大<br>(旧目録P245) | 原<br>本    | 状       | 1  |    |                  |
| 1944<br>L482 | F<br>1 | (文政10)閏6月26日<br>(1827)  | 書状                              | ○下泉村:勝山四郎左衛門<br>●上河内村:岡野谷松兵衛  | 江戸の惣代より早飛脚にて書状到来。差添人がいなくては済まないとのこと。そこで、伊久美村から1人、小川村から五郎右衛門が出府との報せあり。また、雑用金として貴家より金3分を西野様に、私共は小川村に差出す。これら御承知の上、伊久美の村々へも伝えていただきたい。 | (旧目録P221)         | 原<br>本    | 状       | 1  | ○  | 94               |
| 1945<br>L26  | F<br>1 | 文政11年3月19日<br>(1828)・子  | 茶仕切小判58匁之割                      | ○小津次郎左衛門(茶仲間)<br>●岡ノ谷松兵衛  | 「上印 1本7匁目入 代金2両6匁3分 運賃口銭くらしきなど差引 計金4両9匁2分7厘。   | 虫損あり<br>(旧目録P236) | 原<br>本    | 状       | 1  |    |                  |
| 1946<br>L27  | F<br>1 | 文政11年11月<br>(1828)・子    | 覚<br>(茶願一件入用につき)                | ○願ひ惣代地名主庄兵衛 宿:朝間屋清右衛門<br>●笹間下組:名主松兵衛                                      | 高139石5斗1升5合、金26両2分2朱銭230文、内金10両1分3朱銭230文、未年より亥年まで請取。金3両2分、子10月請取。茶願1件入用書面の通り。  | (旧目録P225)         | 原<br>本    | 状       | 1  | ○  | 94               |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支    | 標 題                          | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)                                     | 摘 要  | 備 考<br>(旧目録ページ)                  | 原・写<br>区別 | 形態          | 数量 | 撮影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|-----------------------|------------------------------|--|--|----------------------------------|-----------|-------------|----|----|------------------|
| 1947<br>L28  | F<br>1 | 文政11年12月<br>(1828)・子  | 乍恐以返答書奉申上候                   | ○孫四郎、五郎右衛門、甚左衛門<br>●御役所  | 茶一件は、訴訟期間が延び、雑用金ばかりが高んで取下げを申出た。奉行からは、取下げ後の雑用金は出さなくてもよいとのこと。参加した小前共は、この度仰せ渡された事と違うといって不承知を申した。相手方の身成・伊久美の名主等は、出水・虫付等の難儀につき、出府中の1日1人の雑用金を銀6匁から3匁にして欲しい、と訴える。 | (旧目録P221)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1948<br>L29  | F<br>1 | 文政11年12月<br>(1828)・丑  | 乍恐以書付を奉願上候<br>(茶一件出入り雑用滞りに付) | ○地名村:訴訟人惣代 庄兵衛、身成村:相手方:<br>五郎右衛門、同伊久美村:甚左衛門、笹間下組:<br>松兵衛<br>●紺屋町:御役所 | 地名村名主庄兵衛以下名主4名が訴えた茶一件に関する雑用金滞りの出入につき、各別の御理解をいただきたい。滞りの村は113ヶ村あり、なんとか出金してくれるよう、役所で吟味願いたい。   | (旧目録P221)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1949<br>L326 | F<br>1 | 文政11年極月<br>(1828)・戊子  | 茶仕切り小判五拾八匁割                  | ○茗荷屋善五郎(20軒仲間)<br>●岡野屋松兵衛  | 「上 小口字1本外、計4本の代合金3両2分8匁4分8厘。内運賃・蔵敷・口銭・分引・飛脚、纏めて金1分5匁1分9厘差引。金3両1分4匁4分の仕切書。  | (旧目録P245)                        | 原<br>本    | 状           | 1  |    |                  |
| 1950<br>L30  | F<br>1 | 文政13年5月<br>(1830)・寅   | 茶仕切小判五拾八匁割                   | ○茗荷屋善五郎(印文:大傳馬老町目 茗荷屋)<br>●岡野屋松兵衛                                    | 茶12本の代金3両2分1匁3分5厘。経費として、12匁7分5厘、差引支払い  | 包紙(白紙)<br>(旧目録P245)              | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1951<br>L862 | F<br>1 | 天保2年7月29日<br>(1831)・卯 | 覚<br>(茶内金の送金)                | ○(江戸):山本嘉兵衛<br>●岡野谷松兵衛   | 金10両(文字金)。茶荷物内金として送金下ので、受取り入帳されたい。   | (旧目録P277)                        | 原<br>本    | 状           | 1  |    |                  |
| 1952<br>L327 | F<br>1 | 天保3年正月<br>(1832)・辰    | 茶仕切り小判五十八匁割                  | ○富田利兵衛(印文:大伝馬町式町目 富田)<br>(20軒仲間)<br>●岡のや松兵衛                          | 「上 梅番7貫目、この代金1両3分1匁9分2厘。これより運賃・口銭等7引き、金1両2分(銀)9匁7厘。  | (旧目録P237)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1953<br>L328 | F<br>1 | 天保4年4月<br>(1833)・巳    | 茶仕切小判五拾八匁之割                  | ○富田利兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛   | 「上 久拾三印 1本6貫500目入、大金1分6匁4分4厘。上様預り13匁4分、計2分5匁3分4厘。この内より運賃・蔵しき・口銭等4匁1分7厘を差引。金2分1匁1分7厘の仕切書。   | (旧目録P237)                        | 原<br>本    | 状           | 1  |    |                  |
| 1954<br>L161 | F<br>1 | 天保5年9月吉日<br>(1834)・午  | 「上 茶仕切小判六十目割                 | ○長井利兵衛<br>●岡の谷松兵衛  | 「上茶切小判60目割として、30本。代金28両2分4匁5分7厘。   | (旧目録P239)                        | 原<br>本    | 横<br>帳      | 1  |    |                  |
| 1955<br>L31  | F<br>1 | 天保5年10月<br>(1834)・午   | 茶仕切小判六拾目割                    | ○山本嘉兵衛(印文:江戸日本橋通式町目)<br>●岡野谷松兵衛                                      | 茶仕入 3本、差引8両3分13匁9分9厘。貸し  | 包紙(白紙)<br>(旧目録P246)              | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1956<br>L329 | F<br>1 | 天保6年正月吉日<br>(1835)・未  | 諸色通 金子取次                     | ○中山下田惣吉<br>●上河内村:岡野谷松兵衛  | 岡野谷家の金銭出納帳。米問屋からの高額金の記帳が目立つ。川根筋の活発な経済活動がうかがわれる。  | 表紙含め31枚、<br>内14枚は白紙<br>(旧目録P285) | 原<br>本    | 横<br>半<br>帳 | 1  |    |                  |
| 1957<br>L6   | F<br>1 | 天保7年月吉日<br>(1836)・申   | 懐中帳                          | ○駿州川根茶師岡野谷松輔(表紙)<br>●記載なし  | 江戸から藤枝までの道程を、次に「覚」として、2月29日よりの諸経費を記す。菓子代・川越賃・宿賃・煙草代・馬賃・酒代・草鞋代・齒磨代・団子代・浄瑠璃見物代・芝居銭・茶代・弁当代・饅頭代など。   | (旧目録P285)                        | 原<br>本    | 横<br>半<br>帳 | 1  |    |                  |
| 1958<br>L330 | F<br>1 | 天保8年5月吉日<br>(1837)・酉  | 「上茶仕切小判六十匁割                  | ○長井利兵衛(印文:大傳馬町卷町目 長井)<br>●岡野谷松兵衛                                     | 茶銘柄本又1本、本11本、○1本、計3本の代金2両2分10匁9分8厘。これから、経費として10月仕切貸し12両2分4匁2分6厘、4月29日貸し20両2匁2分の計32両3分5匁5分を差引き、金30両9匁5分4厘の貸しとある。  | (旧目録P239)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1959<br>L331 | F<br>1 | 天保8年5月<br>(1837)・酉    | 茶仕切之事<br>小判五拾八匁割             | ○中条瀬兵衛(印文:伊勢町道浄端 中条)<br>●岡野谷松兵衛                                      | 「上印小口取 泉一、泉二、泉三の3本代金二両2分5匁9分、これより経費4両1分12匁7分6厘を差引き、金1両3分7匁6歩7厘貸しとなる。   | (旧目録P242)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |
| 1960<br>L863 | F<br>1 | 天保8年6月19日<br>(1839)・酉 | 茶仕切小判五十八匁割                   | ○中村三郎右衛門(印文:大傳馬老町目 三中村)<br>●岡野谷松兵衛                                   | 「上 千三 1本、代金1両13匁2分2厘。これより経費の6匁1分5厘を差引き、残金1両7分7厘を渡す。  | (旧目録P272)                        | 原<br>本    | 状           | 1  | ○  | 94               |

| 通し番号<br>整理番号 | 分類     | 年号 年月日<br>西暦( )・干支      | 標 題               | ○差出人(住所・役名・名前)<br>●受取人(住所・役名・名前)                      | 摘 要   | 備 考<br>(旧目録ページ) | 原・写<br>区 別 | 形 態 | 数 量 | 撮 影 | 箱番号<br>コピー<br>保管 |
|--------------|--------|-------------------------|-------------------|---|---|-----------------|------------|-----|-----|-----|------------------|
| 1961<br>L594 | F<br>1 | 天保8年9月29日<br>(1837)・丁酉  | 茶仕切小判五拾八匁割        | ○中村三郎右衛門(印文:大傳馬老丁目 三<br>中村)<br>●岡野谷松兵衛                | 「上印13本、代金15兩3分2匁5分9厘。これより経費の1兩14匁1分<br>を差引き残金14兩2分2匁9分9厘を渡す。  | (旧目録P244)       | 原 本        | 状   | 1   | ○   | 94               |
| 1962<br>L162 | F<br>1 | 天保8年9月<br>(1837)・酉      | 茶仕切小判五拾八匁割        | ○富田利兵衛<br>●岡の谷松兵衛                                     | 「上印19本半、代金21兩2分17匁7分8厘。これより経費の11兩3分<br>9匁5分2厘を差引き、仕切相認める、とある。   | (旧目録P237)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1963<br>L332 | F<br>1 | 天保8年9月<br>(1837)        | 茶仕切り小判六十目割        | ○山本嘉兵衛(印文:江戸日本橋通式町目 諸<br>園茶問屋 山本亮場)<br>●岡野松兵衛         | 「上印12本、代金11兩2分11匁4分7厘。これより経費の1量10匁4<br>分6厘を差引き、金10兩2分2匁1厘を皆済する。                                       | (旧目録P246)       | 原 本        | 綴り  | 1   | ○   | 94               |
| 1964<br>L163 | F<br>1 | 天保9年閏4月<br>(1938)・戊     | 茶仕切小判六拾目割         | ○山本嘉兵衛(印文:江戸日本橋通式町目 諸<br>園茶問屋 山本亮場) 武惣・幸兵衛<br>●岡野屋松兵衛 | 「上印2本、代金2分13匁3分5厘。これより経費7匁5分4厘を差引き、<br>金2分5匁8分1厘を皆済する。  | (旧目録P246)       | 原 本        | 横帳  | 1   | ○   | 94               |
| 1965<br>L767 | F<br>1 | 天保9年5月<br>(1938)・戊      | 「上茶仕切小判六十匁<br>割   | ○板屋與兵衛<br>●岡野屋松兵衛                                     | 田老外5本、差引き金8兩1分8匁。   | (旧目録P233)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1966<br>L333 | F<br>1 | 天保9年9月<br>(1838)・戊      | 茶仕切り之事<br>小判五拾八匁割 | ○中条瀬兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛                              | 「上印小口訳 初花7貫300 金1兩3分3匁3分5厘をはじめ、19本で金<br>21兩2分。これより、くらしき・運賃等諸経費金1兩3分1匁3分1厘を差<br>引き、金19兩3分4匁3分5厘預りの仕切書。 | (旧目録P242)       | 原 本        | 綴り  | 1   |     |                  |
| 1967<br>L335 | F<br>1 | 天保9年秋<br>(1938)・戊       | 茶仕切之事<br>小判       | ○長崎屋瀬兵衛(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛                             | 「上 茶14本の代金15兩2分11匁4分2厘の仕切。諸経費を差引き、1<br>1兩4匁6歩2厘。4兩2分6匁8分1厘は預り。  | (旧目録P240)       | 原 本        | 綴り  | 1   |     |                  |
| 1968<br>L334 | F<br>1 | 天保9年12月<br>(1838)・戊     | 茶仕切小判六拾目割         | ○山本嘉兵衛(印文:江戸日本橋通式町目 全<br>園茶問屋 山本亮場)<br>●岡野谷松兵衛        | 「上 茶9本の代金7兩2分7匁7分1厘。諸経費金2分12匁6分を差<br>引き、金6兩3分2朱3匁1分5厘を皆済する。   | (旧目録P246)       | 原 本        | 綴り  | 1   | ○   | 94               |
| 1969<br>L336 | F<br>1 | 天保10年9月吉日<br>(1839)・亥   | 「上茶仕切小判六十目<br>割   | ○長井利兵衛((江戸茶問屋20軒の内)<br>●岡野谷松兵衛                        | 銘柄「初桜」外27本の代金29兩1分12匁6歩4厘。諸経費24兩2分9<br>分8厘を差引き、4兩3分11匁6歩6厘となる。金4兩3分は差し送り、13<br>分は貸金、預かり金10匁6歩6厘。      | 虫損<br>(旧目録P239) | 原 本        | 綴り  | 1   |     |                  |
| 1970<br>L337 | F<br>1 | 天保10年9月<br>(1839)・己亥    | 茶仕切小判五拾八目割        | ○茗荷屋善五郎(20軒仲間)<br>●岡野屋松兵衛                             | 「上茶12本の代金14兩1分3匁5分8厘の仕切り。諸経費3兩1分7匁<br>2分を差引いて11兩9匁9分2厘となる。  | (旧目録P245)       | 原 本        | 綴り  | 1   |     |                  |
| 1971<br>L595 | F<br>1 | 天保10年12月吉日<br>(1839)・己亥 | 「上茶仕切り小判六拾匁<br>割  | ○長井利兵衛(印文:大傳馬老丁目 長井)(2<br>0軒茶問屋仲間)<br>●岡の谷松兵衛         | 「上印の茶銘柄・重量・代金を記載。諸経費6匁7分9厘を差引いて10匁<br>6歩6厘(9月仕切預り)、さらに9月仕切分ヲ差し引いて3匁5分7厘とあ<br>る。                       | (旧目録P239)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1972<br>L596 | F<br>1 | 天保10年12月吉日<br>(1839)・亥  | 「上茶仕切り小判六拾目<br>割  | ○板屋与兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋)(20軒<br>茶問屋仲間)<br>●岡野谷松兵衛         | 「上 茶9本の代金4兩3分4匁の仕切り。諸経費3兩2分1匁1分8厘<br>を差し送り、差引き2匁3分2厘の預り。  | (旧目録P233)       | 原 本        | 状   | 1   | ○   | 94               |
| 1973<br>L597 | F<br>1 | 天保10年12月<br>(1839)亥     | 茶仕切之事<br>小判五拾八匁割  | ○長崎屋瀬兵衛(印文:(堀留老 長崎屋 中<br>条)(20軒仲間)<br>●岡野谷松兵衛         | 「上 茶4本の代金3兩2分14匁八厘から諸経費金を差引き、金3兩1<br>分12匁6分厘。「上 小口訳1本の代金1兩1分10匁1分8厘から諸経<br>費を差引き、金1兩1分とあり。            | (旧目録P242)       | 原 本        | 状   | 2   | ○   | 94               |
| 1974<br>L695 | F<br>1 | 天保11年正月26日<br>(1840)・子  | 覚                 | ○いせ屋伝兵衛(伊勢町茶問屋)<br>●岡の谷松兵衛                            | 金1分、年賦割済。送金するので、参着の折、受取り願いたい。   | (旧目録P248)       | 原 本        | 状   | 1   |     |                  |
| 1975<br>L338 | F<br>1 | 天保11年9月<br>(1840)・子     | 茶仕切小判五拾八匁之<br>割   | ○伊勢屋傳兵衛<br>●岡野谷松兵衛                                    | 茶荷物14本の代金18兩3分2匁8分2厘、これより諸経費1兩1分10<br>匁2分9厘ヲ差引き、金17兩2分3匁4分3厘を渡す。                                      | (旧目録P232)       | 原 本        | 綴り  | 1   |     |                  |